

- 問1 平清盛が推進した日宋貿易は、当時の日本の経済に大きな変化をもたらしました。宋から輸入され、後の日本国内における貨幣経済の普及に決定的な役割を果たしたものは何ですか。 (2022年 香川公立入試 類似)
1. 宋銭 (銅銭) 2. 鉄砲 3. 生糸 4. 銀
-
- 問2 平安時代の天皇の呼び名は、しばしばその住まいの場所に由来します。一条天皇という名称の由来となった、当時の居住形態と立地に関する記述として正しいものはどれですか。 (2026年 愛知公立入試 類似)
1. 本来の皇居である大内裏の外部に設けられた「里内裏」と呼ばれる仮の御所が、平安京の北端にある一条大路に面していたため。 2. 藤原氏の勢力が増したことで、大内裏の中にある「一条」という名称の特定の私室に閉じ込められ、そこで政務を行っていたため。 3. 三条天皇の治世から数えて第一の功績があったことを称え、平安京の中心を通る一条大路から名付けられた尊称であるため。 4. 藤原道長の邸宅が一条大路から遠く離れた場所にあり、そこへ避難した際に「里 (地方)」に住む天皇として揶揄されたため。
-
- 問3 平氏政権が当時の中国の王朝である宋 (南宋) との貿易を重視し、大規模な港の整備や航路の確保を行った最大の理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 佐賀公立入試 類似)
1. 宋と軍事同盟を結び、東国で勢力を伸ばしていた源氏を海から挟み撃ちにするため。 2. 貿易による莫大な利益と宋銭などの輸入品を、一門の権力を維持するための経済的基盤にするため。 3. 仏教を日本に広めるため、宋から大量の経典や僧侶を招くための安全な窓口が必要だったため。 4. モンゴル帝国の侵攻に備え、博多に代わる新しい防衛拠点と補給路を確保するため。
-
- 問4 平清盛が、当時の都から離れた摂津国の大輪田泊 (兵庫津) を大規模に改修した歴史的な背景と目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛知公立入試 類似)
1. 宋との貿易を盛んにすることで得られる富を、平氏政権の強固な経済基盤にするため。 2. 鎌倉幕府による追手から逃れるために、海路を通じて西国へ移動する拠点を作るため。 3. 律令国家の衰退によって途絶えていた遣唐使を再開し、唐の文化を直接取り入れるため。 4. 北条氏が執権として実権を握る中で、武士の新しい交流拠点として国際港を整備するため。
-
- 問5 平安時代の文化において、貴族の間で浄土信仰が流行した社会的背景とその内容について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 社会の混乱や末法思想の広がりにより、阿弥陀仏を信仰することで死後に極楽へ生まれ変われると考えられた。 2. 厳しい修行や座禅によって、現世において自分自身の力だけで悟りを開くことが救いであると考えられた。 3. 呪術的な祈祷や加持を行うことで、病氣平癒や国家の安泰といった現世での利益を得ることが最大の目的とされた。 4. 海外との交易が盛んになったことで、キリスト教の影響を受けた一神教的な考え方が日本独自の信仰と融合した。
-
- 問6 空海が日本において果たした歴史的役割や活動の内容について、正しい説明を選びなさい。 (2026年 栃木公立入試 類似)
1. 遣唐使に従って唐へ渡り、学んだ密教をもとに真言宗を開いて高野山に金剛峯寺を建てた。 2. 唐から鑑真を招き、正しい戒律を日本に広めることで仏教の制度を整えた。 3. 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、当時の新しい仏教の基礎を築いた。 4. 聖武天皇の命を受け、全国に国分寺・国分尼寺を建立して仏教による国家鎮護を目指した。
-
- 問7 平安時代に発達した「かな文字」が、当時の文化に与えた影響についての説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 漢字を書き崩すことで日本語の発音が表現しやすくなり、『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれた。 2. 中国の宋から伝わった漢字の読み方を正確に記録するために、公文書のすべてで「かな」が使われるようになった。 3. 万葉集などの和歌を、意味を重視した漢字一文字のみで記録する手法として全国に広まった。 4. 仏教の教えを庶民に分かりやすく伝えるため、サンスクリット語の文字を簡略化して作られた。
-
- 問8 平安時代の政治と文化に関する説明として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。なお、ここでの歴史的建造物とは、11世紀前半に藤原氏の権力を象徴するものとして、池のほとりに翼を広げたような形状で建てられたものを指します。 (2017年 三重公立入試 類似)
1. 藤原氏が摂政や関白として権力を握った摂関政治の時期に、藤原頼通によって建立された。 2. 聖武天皇が仏教の力によって国家を安定させるために、全国に建立を命じた。 3. 足利義満が、公家文化と武家文化を融合させた北山文化の象徴として建立した。 4. 源頼朝が、平氏を滅ぼしたあとに幕府の権威を示すために鎌倉に建立した。
-
- 問9 平安時代、藤原氏は天皇の補佐役として政治の実権を握りました。このうち、天皇が成人した後にその事務を助け、政務を補佐する役職を何と呼びますか。 (2020年 大阪公立入試 類似)
1. 摂政 2. 関白 3. 太政大臣 4. 内覧
-
- 問10 1156年に起こった保元の乱に続き、その3年後の1159年に発生した、源氏と平氏の対立を背景とする政変について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 平清盛が源義朝を破って勝利し、のちに武士として初めて太政大臣に任命され、平氏が政権を握るきっかけとなった。 2. 後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして挙兵したが敗れ、幕府の支配力が西日本まで及ぶきっかけとなった。 3. 源頼朝が壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼし、のちに征夷大将軍に任命されて鎌倉幕府を開くきっかけとなった。 4. 足利尊氏が後醍醐天皇による建武の新政に反旗を翻し、京都に武家政権を樹立するきっかけとなった。
-
- 問11 平安時代の文化において、和歌や物語などの文学が飛躍的に発展し、「古今和歌集」のような優れた作品が生まれた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 岐阜公立入試 類似)
1. 漢字を崩した「かな文字」が使われるようになり、繊細な心情や感覚を表現できるようになったため 2. 遣唐使を通じて最新の中国文学が大量に輸入され、漢詩による創作活動が貴族の主流となったため 3. 武士が政治の実権を握り、質実剛健な気風を重んじる新しい文芸様式が確立されたため 4. 印刷技術が普及したことにより、それまで貴族のものだった文学が庶民層へ広く浸透したため
-
- 問12 平安時代中期、息子の頼通とともに摂関政治の全盛期を築き、自身の栄華を「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることもなしと思へば」という歌に詠んだ人物は誰か。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 藤原道長 2. 藤原頼通 3. 藤原鎌足 4. 藤原良房
-
- 問13 平安時代初期の文化に関するある解説文の中で、遣唐使として中国へ渡り、最新の仏教を日本へ持ち帰った僧侶について触れられています。その僧侶が、山岳修行の場として紀伊半島の高野山に建立した寺院の名称として正しいものはどれですか。 (2018年 静岡公立入試 類似)
1. 金剛峯寺 2. 延暦寺 3. 法隆寺 4. 東大寺

答え合わせ・解説

問1	答え 1 宋銭（銅銭）	日宋貿易を通じて大量の宋銭が日本に流入しました。これにより、それまでの物々交換を中心とした経済から、貨幣を用いた取引へと移行するきっかけが作られました。宋銭は平氏の滅亡後も、鎌倉時代や室町時代に至るまで日本の主要な通貨として流通し続けました。鉄砲の伝来は戦国時代、生糸や銀の大量取引は後の朱印船貿易などで顕著になります。
問2	答え 1 本来の皇居である大内裏の外部に設けられた「里内裏」と呼ばれる仮の御所が、平安京の北端にある一条大路に面していたため。	平安時代中期以降、天皇は大内裏（宮城）の中にある内裏が焼失した際などに、貴族の邸宅を仮の御所として利用するようになりました。これを「里内裏」と呼びます。一条天皇の場合、平安京の北東に位置し、一条大路に面した邸宅を御所として使用したことがその呼び名の由来となりました。
問3	答え 2 貿易による莫大な利益と宋銭などの輸入品を、一門の権力を維持するための経済的基盤にするため。	平清盛は、武力だけでなく経済力によって政権を安定させようと考えました。大輪田泊を整備して日宋貿易を本格化させ、宋から輸入した宋銭を国内で流通させることで、貨幣経済の先駆けとなりました。この経済力が、平氏の「平氏にあらずんば人にあらず」と言われるほどの全盛期を支えました。
問4	答え 1 宋との貿易を盛んにすることで得られる富を、平氏政権の強固な経済基盤にするため。	平氏政権は、それまでの貴族が土地（荘園）からの収入に頼っていたのに対し、貿易による利益を重視した点に特徴があります。清盛は日宋貿易を拡大するため、瀬戸内海の航路を整備し、その中心拠点として大輪田泊を改修しました。宋から輸入された宋銭は国内でも流通し、貨幣経済が浸透するきっかけの一つとなりました。選択肢にある鎌倉幕府や北条氏は時代が異なるため誤りです。
問5	答え 1 社会の混乱や末法思想の広がりにより、阿弥陀仏を信仰することで死後に極楽へ生まれ変われると考えられた。	1052年から始まるとされた「末法（仏法の力が衰える時期）」への恐怖と、相次ぐ戦乱や災害による社会的不安が、人々の心を死後の救済へと向かわせました。自力で悟りを開く難解な修行よりも、阿弥陀仏という他者に救いを求める「他力本願」的な浄土信仰が受け入れられたのです。座禅による悟りは後の鎌倉時代に広まる禅宗の特徴であり、加持祈祷による現世利益は平安時代初期に広まった密教（真言宗や天台宗）の側面が強いものです。
問6	答え 1 遣唐使に従って唐へ渡り、学んだ密教をもとに真言宗を開いて高野山に金剛峯寺を建てた。	空海は804年の遣唐使に参加し、唐の都である長安で最新の密教を学びました。帰国後、その教えを真言宗として体系化し、高野山（金剛峯寺）を拠点に活動しました。選択肢にある比叡山延暦寺は最澄、鑑真の来日は奈良時代、国分寺の建立も奈良時代の聖武天皇による政策です。
問7	答え 1 漢字を書き崩すことで日本語の発音が表現しやすくなり、『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれた。	遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土や生活に合わせた国風文化が成立しました。かな文字の誕生によって、特に貴族の女性たちの間で、自分の心情を豊かに表現した物語や随筆などの文学作品が執筆されるようになりました。
問8	答え 1 藤原氏が摂政や関白として権力を握った摂関政治の時期に、藤原頼通によって建立された。	問題文にある歴史的建造物は平等院鳳凰堂を指しています。これは11世紀前半、藤原道長と頼通の親子が摂関政治によって絶大な財力と権力を誇った時代に、頼通が自らの別荘を寺に改めたものです。当時の国風文化の特色である、優雅で洗練された貴族の好みが強く反映されています。
問9	答え 2 関白	藤原氏は天皇が幼少のときは「摂政」として政務を代行し、天皇が成人した後は「関白」として引き続き政治を補佐する体制を築きました。このように摂政や関白の職を独占して行われた政治を摂関政治と呼び、藤原道長やその子頼通の時期に全盛期を迎えました。
問10	答え 1 平清盛が源義朝を破って勝利し、のちに武士として初めて太政大臣に任命され、平氏が政権を握るきっかけとなった。	1159年に起こった平治の乱は、保元の乱の後の恩賞などを巡る対立が背景にあります。この乱で源義朝を破った平清盛は、急速に勢力を拡大しました。清盛はその後、武士として初めて朝廷の最高職である太政大臣に就任し、一族で高位高官を独占するとともに、日宋貿易を推進して平氏の全盛期を築きました。
問11	答え 1 漢字を崩した「かな文字」が使われるようになり、繊細な心情や感覚を表現できるようになったため	国風文化の最大の特徴の一つは、日本独自の文字である「かな文字」の発達です。それまでは漢字の音訓を利用して日本語を表記していましたが、かな文字の誕生によって、宮廷の女性や貴族たちが、日常の感情や自然の美しさをより自由かつ細やかに表現することが可能になりました。これが「古今和歌集」の編纂や、その後の「源氏物語」といった傑作の誕生につながりました。
問12	答え 1 藤原道長	自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子が天皇になると、外祖父として政治の実権を握った。提示された歌は、自身の権力が満月（望月）のように欠けるところがないと誇ったものである。息子の頼通も長く権力を維持し、宇治に平等院鳳凰堂を建立したことで知られる。
問13	答え 1 金剛峯寺	空海は厳しい修行を行う場として、人里離れた高野山に金剛峯寺を建立しました。一方で、同時期に比叡山で天台宗を開いた最澄の寺院は延暦寺です。この二つの宗派は、平安時代初期の貴族の支持を集め、国家の安泰を祈る密教として日本の文化に深く根付きました。

- 問1 日本の古代における文化の変遷について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。なお、古代の政治と暮らしを対比させた資料によると、律令政治が確立した時期から、文字の使用状況に大きな変化が見られたことが示されています。 (2020年 滋賀公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 奈良時代には遣唐使によって唐の優れた文化が伝えられ、正倉院の宝物に代表されるような国際色豊かな文化が栄えた。その後、平安時代には日本人の生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字が広く使われるようになった。 | 2. 飛鳥時代にはかな文字を用いた和歌が広く親しまれ、奈良時代になると聖徳太子を中心に遣唐使が派遣されて、正倉院に納められるような大陸の仏教文化が日本に初めて伝えられた。 | 3. 奈良時代に菅原道真の建議で遣唐使が廃止されたことで、漢字を捨ててかな文字のみを用いる国風文化が誕生し、平安時代には正倉院に見られるような国際的な仏教文化が全盛期を迎えた。 | 4. 飛鳥時代から始まった国風文化は、奈良時代の遣唐使の往来によって国際的な要素を取り入れて洗練され、平安時代に入るとかな文字の普及によって正倉院の建築様式に大きな影響を与えた。 |
|---|---|--|---|
-
- 問2 12世紀後半、武士として初めて太政大臣となった平清盛は、現在の神戸市にあたる大輪田泊を修築し、瀬戸内海の航路を整備しました。清盛がこのように港や航路を整えてまで積極的に行おうとした貿易の相手国である、当時の中国の王朝名を次の中から選びなさい。 (2019年 香川公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 唐 | 2. 宋 | 3. 元 | 4. 明 |
|------|------|------|------|
-
- 問3 8世紀から9世紀にかけての日本および世界の情勢に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 日本では墾田永年私財法によって土地の私有が認められるようになり、その後平安京への遷都を経て、大陸の情勢変化を受け遣唐使が廃止された。 | 2. 卑弥呼が中国の魏に使いを送った時期と同時期に、イスラム教が成立し、それを受けて日本は平安京への遷都を決定した。 | 3. 新羅が朝鮮半島を統一したのと同時期に、日本にはじめて稲作が伝来し、その記念として遣唐使の派遣が始まった。 | 4. フランス革命や産業革命などの資本主義の動きが活発化した時期に、日本では平安京の建設が行われ、遣唐使が盛んに派遣された。 |
|---|--|---|--|
-
- 問4 11世紀後半の日本では、それまで長く続いた摂関政治に代わり、天皇が位を退いてからも「上皇」として引き続き政治の実権を握る新しい政治形態が始まりました。この政治を始めた人物として正しいものは誰ですか。 (2025年 岡山公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 白河天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 持統天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問5 平安時代中期の11世紀、摂政を務めた藤原頼通によって建立された建築物について、その背景と目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2022年 島根公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 末法思想の広がりにより、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が流行したため、その世界を地上に再現しようとした。 | 2. 平氏による南都焼討からの復興を願い、東大寺の再建とともに大仏殿の修復を行うことで権力を示そうとした。 | 3. 室町幕府の足利義満が、北山文化を象徴する豪華な別荘として、一階を寝殿造、三階を禅宗様として建築させた。 | 4. 聖武天皇が仏教の力で国を治めるため、全国に国分寺・国分尼寺を建立し、その総本山として都に巨大な寺院を築いた。 |
|---|---|--|---|
-
- 問6 10世紀から11世紀にかけての日本の文化において、漢字を簡略化して作られ、貴族の生活や感情を自由に表現することを可能にした文字と、その文字を用いて執筆された文学作品の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|------------------------|--------------------------|------------------------|
| 1. かな文字 — 『源氏物語』や『枕草子』 | 2. 万葉仮名 — 『万葉集』や『日本書紀』 | 3. ハングル — 『奥の細道』や『曽根崎心中』 | 4. カタカナ — 『徒然草』や『平家物語』 |
|------------------------|------------------------|--------------------------|------------------------|
-
- 問7 日本の歴史において、平将門の乱が起きた後の935年から、鎌倉幕府が成立する1192年までの期間（11世紀初め）に、紫式部によって執筆された文学作品として正しいものを次から選びなさい。 (2016年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 源氏物語 | 2. 枕草子 | 3. 土佐日記 | 4. 平家物語 |
|---------|--------|---------|---------|
-
- 問8 平安時代の「国風文化」が栄えた時期に普及した「浄土信仰」について、その内容と背景を説明したものとして最も適切なものを次から選びなさい。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 末法思想による社会不安を背景に、阿彌陀如来を信じることで死後の救済を求めた。 | 2. 鎮護国家の思想に基づき、天皇が仏教の力で国の災害や疫病を防ごうとした。 | 3. 座禅によって自ら悟りを開くことを重視し、新しい文化を担った武士に支持された。 | 4. 厳しい山岳修行を通じて超自然的な力を得て、現世での幸福を実現しようとした。 |
|---|--|---|--|
-
- 問9 平安時代初期、遣唐使として中国の唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山延暦寺を拠点として天台宗を広めた僧侶は誰ですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 最澄 | 2. 空海 | 3. 鑑真 | 4. 行基 |
|-------|-------|-------|-------|
-
- 問10 平安時代後期、白河天皇は天皇の位を譲って上皇となった後も、それまで有力貴族が独占していた政治上の実権を自らの手に取り戻そうとした。このように、上皇が摂政や関白の力を抑えて直接政治を行う体制を何といいますか。 (2024年 愛知公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 院政 | 2. 摂関政治 | 3. 武家政治 | 4. 律令政治 |
|-------|---------|---------|---------|
-
- 問11 12世紀半ばに京都で起きた保元の乱や平治の乱は、その後の日本社会のあり方を大きく変える契機となりました。これらの戦いにおいて、武士が朝廷内部の権力争いに動員されたことが政治に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 広島公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 朝廷内部の対立を解決するために武士の武力が不可欠となり、武士が政治の実権を握るきっかけとなった。 | 2. 武士は朝廷から完全に独立し、地方の豪族を保護するための独自の自治組織を全国に広めた。 | 3. 朝廷は武士の武力を危険視し、武士をすべて農業に専念させて政治に関与させない仕組みを構築した。 | 4. 武士は有力な寺院や神社の勢力を抑制することに専念し、貴族に代わって宗教行事を司るようになった。 |
|---|---|---|--|
-
- 問12 歴史博物館の展示において、日本の原始・古代の締めくくりとして紹介される重要な出来事に「794年の遷都」があります。奈良の平城京から都を移し、現在の京都市にあたる平安京を築いた天皇は誰ですか。 (2014年 愛媛公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖武天皇 | 2. 桓武天皇 | 3. 天智天皇 | 4. 推古天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問13 鎌倉時代後期に幕府が田地の調査を実施した背景として、最も適切な理由を説明しているものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 元寇による国防上の危機に対応するため、軍役や兵糧米の負担基準となる土地を把握する必要があったから。 | 2. 公地公民の原則を徹底し、すべての土地を天皇のものとして農民に等しく分け与えるため。 | 3. 武家諸法度を制定するにあたり、大名たちの所領の境界線を明確にして紛争を未然に防ぐため。 | 4. 地租を金納に改めることで、貨幣経済の普及に対応した安定的な税収を確保するため。 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 奈良時代には遣唐使によって唐の優れた文化が伝えられ、正倉院の宝物に代表されるような国際色豊かな文化が栄えた。その後、平安時代には日本人の生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字が広く使われるようになった。	奈良時代は、遣唐使によってもたらされた唐の文化や、シルクロードを経由した西アジア・インドなどの影響を強く受け、聖武天皇の遺品などが納められた正倉院の宝物に見られるような国際的な天平文化が栄えました。続く平安時代には、遣唐使の停止などをきっかけに、日本の風土や生活感覚に合わせた国風文化が発達しました。その過程で、漢字を簡略化した「かな文字」が考案され、物語や日記などの文学が発展しました。
問2	答え 2 宋	平清盛は、平安時代末期に日宋貿易を推進することで平氏の経済的基盤を固めました。当時、貿易の拠点として大輪田泊（現在の兵庫県神戸市）を整備し、瀬戸内海の航路を確保することで、宋から輸入される銅銭（宋銭）や陶磁器、香料などを手に入れ、絶大な権力を握る背景となりました。
問3	答え 1 日本では墾田永年私財法によって土地の私有が認められるようになり、その後平安京への遷都を経て、大陸の情勢変化を受け遣唐使が廃止された。	8世紀の奈良時代には墾田永年私財法によって私有地である「荘園」が生まれるきっかけが作られました。その後、794年に平安京へ都が移り、9世紀末の894年には、唐の衰退や日本独自の文化の発展（国風文化）を背景として遣唐使が廃止されました。フランス革命や資本主義の台頭は18世紀以降の近代の出来事であり、古代の日本史とは時期が大きく異なります。
問4	答え 1 白河天皇	1086年に白河天皇が幼い堀河天皇に位を譲り、上皇となった後も「院」において実権を握り続けたことが院政の始まりです。これにより、天皇の外戚として権力を振るっていた藤原氏（摂関家）の影響を抑える狙いがありました。聖武天皇は奈良時代の東大寺建立、桓武天皇は平安京遷都、持統天皇は飛鳥時代の藤原京遷都で知られる人物です。
問5	答え 1 末法思想の広がりにより、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が流行したため、その世界を地上に再現しようとした。	藤原氏の権勢が絶頂期にあった平安時代中期、仏教の教えが衰える「末法」の時代が来ると信じられ、人々の間で浄土信仰（極楽往生を願う信仰）が急速に広まりました。藤原頼通は、父・道長から譲り受けた別荘を寺院に改め、阿弥陀如来を本尊として祀ることで、経典に描かれる華麗な極楽浄土の様子を視覚的に表現しました。
問6	答え 1 かな文字 — 『源氏物語』や『枕草子』	この時期、漢字を崩したり一部を取ったりして作られた「かな文字」が広く普及しました。これにより、漢文では表現しにくかった微妙な感情や宮廷生活の様子を表現できるようになり、紫式部による物語文学や清少納言による随筆など、日本文学の傑作が数多く誕生しました。
問7	答え 1 源氏物語	11世紀初め、藤原道長が権勢を誇った平安時代中期に、宮廷に仕えていた紫式部によって『源氏物語』が執筆されました。この時期は国風文化が全盛期を迎え、かな文字を用いた女流文学が数多く誕生しました。選択肢にある『枕草子』は清少納言による随筆、『土佐日記』は紀貫之による日記文学、『平家物語』は鎌倉時代に成立した軍記物語です。
問8	答え 1 末法思想による社会不安を背景に、阿弥陀如来を信じることで死後の救済を求めた。	浄土信仰が広まった背景には、貴族の権力争いや社会の混乱から生じた「末法思想（仏教の教えが正しく伝わらなくなる時代が来るという考え）」があります。これまでの仏教が「国を守るため」だったのに対し、浄土信仰は「個人の死後の救済」を目的としており、阿弥陀如来を信仰することが最大の特徴です。座禅を重視したのは後の鎌倉新仏教である禅宗です。
問9	答え 1 最澄	804年に最澄は遣唐使とともに唐へ渡り、翌年帰国して天台宗を伝えました。比叡山に建てられた延暦寺は、その後の日本仏教において多くの名僧を輩出する修行の場となりました。同時期に真言宗を伝えた空海と並び、平安仏教の礎を築いた人物です。
問10	答え 1 院政	白河天皇は1086年に幼い天皇に位を譲った後、自らは上皇として政治の実権を握りました。これは、藤原氏が代々務めてきた摂政や関白といった官職の枠組みから離れることで、藤原氏の影響力を弱め、皇室主導の政治を行うことが目的でした。
問11	答え 1 朝廷内部の対立を解決するために武士の武力が不可欠となり、武士が政治の実権を握るきっかけとなった。	11世紀半ばの東北地方での戦いなどは、主に地方の反乱鎮圧が目的でしたが、12世紀の保元の乱や平治の乱では、天皇や上皇、貴族同士の対立を解決するために武士の力が直接利用されました。これにより、政治的な決着をつけるためには武力が不可欠であることが明らかになり、武士の政治的地位が急速に高まって平氏政権の誕生へとつながりました。
問12	答え 2 桓武天皇	奈良時代末期の政治の乱れを立て直すために、784年の長岡京遷都に続き、794年に山背国の平安京へと都を移しました。この遷都から鎌倉幕府が成立するまでの約400年間は平安時代と呼ばれます。聖武天皇は奈良時代の平城京で大仏を建立した天皇であるため、混同に注意が必要です。
問13	答え 1 元寇による国防上の危機に対応するため、軍役や兵糧米の負担基準となる土地を把握する必要があったから。	モンゴル帝国の襲来（元寇）を受け、幕府は御家人に対して異国警護番役などの軍役を課しました。これらの軍事費を確実に調達し、防衛体制を整えるためには、田地の広さや収穫量を正確に調査して課税の基礎を固める必要がありました。

- 問1 平安時代、藤原氏は長年にわたって政治の実権を握りましたが、彼らが権力を維持するために用いた最も主要な政治的手法として正しいものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を次の天皇に立てて、天皇の母方の親戚（外戚）として政治を行う手法 | 2. 地方の武士団と結びついて軍事力を背景に天皇を圧迫し、武力によって幕府を開くことで政治を主導する手法 | 3. 大陸の進んだ律令制度を導入し、天皇を中心とした公地公民の原則を徹底させることで官僚機構を支配する手法 | 4. 仏教の教えを政治の柱とし、全国に国分寺を建立することで民衆の支持を集め、宗教的な権威によって統治する手法 |
|--|--|---|---|
- 問2 平清盛は、中国の宋との貿易（日宋貿易）を本格化させるため、現在の神戸市付近にあたる瀬戸内海の要所に港を整備しました。この港の名称を答えなさい。 (2014年 沖縄公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------|-------|-------|
| 1. 大輪田泊 | 2. 堺 | 3. 博多 | 4. 坊津 |
|---------|------|-------|-------|
- 問3 奈良時代末期、仏教勢力が政治に深く関与するようになった状況を打破し、天皇中心の政治を立て直す目的で行われた政治改革に関連する記述です。七百九十四年に都を山背国の平安京へと移し、新しい政治の刷新を図った天皇として正しいものを選びなさい。 (2023年 大阪公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 桓武天皇 | 2. 推古天皇 | 3. 天智天皇 | 4. 天武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問4 山口県の壇ノ浦の戦いで滅亡した平氏が、その全盛期に中国の王朝と行っていた貿易（日宋貿易）の内容について正しく述べたものはどれか、次から選びなさい。 (2022年 佐賀公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 倭寇による略奪を防ぐため、勘合（かんごう）と呼ばれる札を用いた貿易を行った。 | 2. 日本からは金や木材などを輸出し、宋からは陶磁器や大量の銅銭などを輸入した。 | 3. 朝廷の許可を得ずに、キリスト教の布教を認める代わりに鉄砲を輸入する貿易を行った。 | 4. 元（モンゴル）からの朝貢の要求を拒否し、民間人による非公式な取引のみを継続した。 |
|---|--|---|---|
- 問5 894年に、唐の国力が衰退していることや往復の航海が危険であることを理由に、遣唐使の派遣を停止するよう天皇に建議した人物は誰ですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-------|---------|
| 1. 菅原道真 | 2. 阿倍仲麻呂 | 3. 鑑真 | 4. 聖徳太子 |
|---------|----------|-------|---------|
- 問6 菅原道真が遣唐使の停止を建議したことによって、その後の平安貴族の生活や文化にどのような影響を与えましたか。最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大陸の文化を日本の風土や好みに合わせて消化・吸収した、日本独自の国風文化が発達した。 | 2. 中国の律令制度をそのまま導入することで、天皇を中心とする中央集権的な政治体制が完成した。 | 3. 唐の先進的な土木技術を導入したことにより、全国で大規模な開墾が進み、班田収授の法が厳格に運用された。 | 4. 日本独自の文字である「かな文字」の使用が禁止され、すべての公文書を漢文で記す習慣が定着した。 |
|---|---|---|---|
- 問7 平安時代初期、僧の最澄は唐へ渡って仏教を学び、帰国後に新しい宗派を広めました。彼が修行の拠点として比叡山に建立し、後に多くの高僧を輩出することになった寺院の名称と、その宗派の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 岐阜公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1. 天台宗・延暦寺 | 2. 真言宗・金剛峯寺 | 3. 浄土宗・知恩院 | 4. 時宗・清浄光寺 |
|------------|-------------|------------|------------|
- 問8 12世紀の東北地方において、奥州藤原氏が中尊寺金色堂に代表されるような壮麗な仏教文化を築くことができた背景として、最も適切な説明はどれか。 (2022年 愛知公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 東北地方で産出された豊富な金（きん）や名馬の交易を通じて、都の文化を導入できるほどの強大な経済力を蓄えていたから。 | 2. 日宋貿易の拠点として港湾を整備し、宋から輸入した大量の貨幣と高級な陶磁器を独占的に流通させていたから。 | 3. 平氏との親密な関係を通じて、都の最新の建築技術と、瀬戸内海の制海権を背景とした物流網を掌握していたから。 | 4. 鎌倉幕府から地頭として任命され、東北全域の徴税権を公式に認められたことで、安定的な財源を確保できたから。 |
|--|--|---|---|
- 問9 平安時代中期、息子の頼通とともに摂関政治の全盛期を築き、自身の栄華を「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることもなしと思へば」という歌に詠んだ人物は誰か。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 藤原道長 | 2. 藤原頼通 | 3. 藤原鎌足 | 4. 藤原良房 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問10 平安時代の中期、894年に菅原道真の建議によって遣唐使が停止されたことをきっかけに、これまでの大陸文化を日本の風土や好みに合わせて消化した貴族中心の文化が発達しました。この文化において、日本人の感情を表現するために漢字を簡略化したり、その一部をとったりして作られた文字を何といいますか。 (2017年 大阪公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. かな文字 | 2. ハングル | 3. 梵字 | 4. 楔形文字 |
|---------|---------|-------|---------|
- 問11 11世紀後半、藤原氏による摂関政治を抑えるため、天皇が位を譲って退位したあとも「上皇」として実権を握り、自ら政治を行う仕組みが始まりました。この政治体制の名称と、これを最初に始めた人物の組み合わせとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2019年 島根公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|----------------------|-----------------------|---------------------|
| 1. 「院政」を行い始めた「白河上皇」 | 2. 「院政」を行い始めた「後醍醐天皇」 | 3. 「摂関政治」を確立させた「藤原道長」 | 4. 「新政」を執り行った「白河上皇」 |
|---------------------|----------------------|-----------------------|---------------------|
- 問12 中尊寺金色堂が位置する岩手県平泉に関連する記述として、歴史的な事実に基づいた正しいものはどれか。 (2022年 愛知公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。 | 2. 平泉は源頼朝の命によって、東国を統治するための幕府の出先機関である「奥州総奉行」が設置された政治の中心地である。 | 3. 平安京の景観を完全に模倣して造られたため「北の京」と呼ばれ、遣唐使によってもたらされた最新の大陸文化が花開いた。 | 4. 室町時代に足利義政が隠居所として開発した地域であり、簡素な美しさを尊ぶ「わび・さび」の文化の源流となった。 |
|--|---|---|--|
- 問13 1156年に発生した保元の乱は、平安時代末期の政治状況を大きく変えるきっかけとなりました。この政変の直接的な原因となった、当時の朝廷内における対立関係を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 島根公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. 院政の実権をめぐる、上皇と天皇による主導権争い | 2. 将軍の跡継ぎ問題をきっかけとした、守護大名同士の勢力争い | 3. 武家政権の樹立を目指す武士団による、朝廷への反乱 | 4. 摂関政治を維持しようとする藤原氏と、新興武士層との対立 |
|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を次の天皇に立てて、天皇の母方の親戚（外戚）として政治を行う手法	藤原氏は、自分の娘を天皇のきさきとして送り込み、生まれた皇子を次の天皇に即位させることで、天皇の「外祖父（母方の祖父）」という立場を築きました。この血縁関係を基盤に、天皇が幼少のときには摂政、成人してからは関白という役職に就いて政治を独占しました。これを摂関政治と呼びます。
問2	答え 1 大輪田泊	平清盛は、日宋貿易による経済力の確保を重視しました。大型の貿易船が安全に入港できるように、現在の神戸市兵庫区付近にあった大輪田泊を大規模に修築・整備しました。この港はのちに「兵庫の津」と呼ばれ、現在の神戸港の源流となりました。当時の地図情報においても、瀬戸内海の東端に近い、現在の兵庫県神戸市周辺に位置する重要な海上交通の拠点です。
問3	答え 1 桓武天皇	平城京では有力寺院の勢力が強まり、政治に大きな影響を及ぼすようになっていました。この影響を断ち切り、律令政治の再建（政治改革）を目指して、七百九十四年に平安京への遷都が実行されました。これにより約400年にわたる平安時代が幕を開けることになります。
問4	答え 2 日本からは金や木材などを輸出し、宋からは陶磁器や大量の銅銭などを輸入した。	日宋貿易において、日本からは金、銀、木材、刀剣などが輸出され、宋からは絹織物、陶磁器、そして当時の日本に大きな影響を与えた宋銭（銅銭）などが輸入されました。勘合貿易は室町時代の足利義満によるもの、鉄砲の伝来は戦国時代、元との関係は鎌倉時代中期以降の出来事です。
問5	答え 1 菅原道真	平安時代の公卿である菅原道真は、894年に宇多天皇に対して遣唐使の停止を建議しました。当時の唐は国内の乱れによって国力が衰えており、命がけで渡航してもそれに見合う文化的な成果を得ることが難しいと判断されたためです。これ以降、遣唐使は派遣されることなく廃止されました。
問6	答え 1 大陸の文化を日本の風土や好みに合わせて消化・吸収した、日本独自の国風文化が発達した。	遣唐使の停止により、大陸からの直接的な文化の流入が制限されました。これにより、それまでに取り入れた唐風の文化を、日本の気候や日本人の感性に合うように作り変える動きが強まりました。その結果、かな文字の使用や、寝殿造、大和絵、和歌の隆盛といった「国風文化」が花開くことになりました。
問7	答え 1 天台宗・延暦寺	最澄は平安京の北東に位置する比叡山に延暦寺を建て、天台宗を広めました。比叡山は「日本仏教の母」とも呼ばれ、鎌倉時代に新しい宗派を開いた法然や親鸞などもここで修行したことで知られています。同時期に空海が和歌山県の高野山に金剛峯寺を建てて開いたのは真言宗です。
問8	答え 1 東北地方で産出された豊富な金（きん）や名馬の交易を通じて、都の文化を導入できるほどの強大な経済力を蓄えていたから。	奥州藤原氏の繁栄の土台となったのは、東北地方で採掘された金と、名馬の産地としての利点です。これらを京都へ送ることで、当時の都の最新文化や高度な技術を平泉へ取り入れることが可能になりました。金色堂の装飾に使われている螺鈿（らでん）の材料である夜光貝が南方の海から運ばれていることも、広範な交易網を裏付けています。
問9	答え 1 藤原道長	自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子が天皇になると、外祖父として政治の実権を握った。提示された歌は、自身の権力が満月（望月）のように欠けるところがないと誇ったものである。息子の頼通も長く権力を維持し、宇治に平等院鳳凰堂を建立したことで知られる。
問10	答え 1 かな文字	遣唐使の廃止によって大陸との直接的な交流が途絶えたことで、それまでの唐風の文化から、日本の自然や日本人の感性を重視する「国風文化」へと変化しました。この時期に「かな文字」が考案されたことで、『源氏物語』や『枕草子』などの物語や随筆、和歌が数多く生み出され、国文学が大きく発展しました。
問11	答え 1 「院政」を行い始めた「白河上皇」	摂関政治によって強まった藤原氏の影響力を退け、実権を皇室に取り戻すために始まったのが院政です。1086年に白河天皇が位を譲って白河上皇となり、天皇の住まい（内裏）とは別の「院」と呼ばれる場所で政治を主導しました。後醍醐天皇は鎌倉時代末期に天皇親政を目指して建武の新政を行った人物であり、時代や政治形態が異なります。
問12	答え 1 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。	平泉は奥州藤原氏三代（清衡、基衡、秀衡）の時期に、仏教の理想郷を目指した都市として整備されました。中尊寺だけでなく毛越寺の庭園などにも有名です。2011年には「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」として、世界文化遺産に登録されました。
問13	答え 1 院政の実権をめぐる、上皇と天皇による主導権争い	平安時代末期、鳥羽法皇の死後、崇徳上皇と後白河天皇の間で「院政」の実権をめぐる対立が激化しました。この皇位継承や朝廷の主導権をめぐる争いに、藤原氏内部の対立や源氏・平氏などの武士が巻き込まれる形で武力衝突に至ったのが保元の乱です。選択肢にある「將軍の跡継ぎ問題」は室町時代の応仁の乱などの特徴であり、この時期の状況とは異なります。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 平清盛	平清盛は、瀬戸内海の制海権を掌握し、現在の神戸市にあたる大輪田泊を大規模に修築しました。これにより、中国の宋との間で日宋貿易を積極的に行い、輸入された宋銭や香料などの品々や、貿易から得られる莫大な富を背景に平氏の全盛期を築きました。足利義満は室町時代の人物で明との貿易を行い、菅原道真は遣唐使の廃止を建議した人物です。
問2	答え 1 空海	空海（弘法大師）は真言宗の開祖であり、紀伊半島の高野山を修行の場として選びました。一方、同時期に活躍した最澄は天台宗の開祖であり、近江国（滋賀県）の比叡山を拠点としています。栄西や道元は鎌倉時代に禅宗を広めた人物であり、時代背景が異なります。
問3	答え 1 国風文化 ― 浄土信仰	遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が発達しました。平等院鳳凰堂はこの国風文化の代表的な建築物であり、その造営には、阿弥陀如来を信仰して極楽往生を願う浄土信仰が強く影響しています。天平文化は奈良時代、弘仁・貞観文化は平安時代初期の文化です。
問4	答え 1 北方の交易拠点である十三湊などを通じた経済力を背景に、京都の文化を取り入れつつ独自の仏教文化を形成した。	奥州藤原氏は、拠点である平泉を中心に、現在の岩手県から青森県にかけて強い影響力を持っていました。青森県の十三湊を通じたアイヌの人々との交易や、領内で産出される豊富な「金」による経済力を背景に、中尊寺金色堂に象徴される華やかな仏教文化を築きました。慈照寺銀閣は室町時代の文化であり、時代が異なります。また、堺や博多は西日本の商業拠点です。
問5	答え 1 古今和歌集	遣唐使が停止された後の平安時代には、日本の風土や日本人の感情に合った「国風文化」が発達しました。その流れの中で、紀貫之らが中心となって天皇の命令により編纂された、最初の勅撰和歌集（ちよくせんわかしゅう）が古今和歌集です。万葉集は奈良時代、新古今和歌集は鎌倉時代初期、懷風藻は奈良時代に成立した日本最古の漢詩集です。
問6	答え 1 最澄	平安時代初期、桓武天皇の支持を受けた最澄は、唐での修行を終えて帰国し、比叡山（滋賀県・京都府）を拠点に天台宗を日本に伝えました。同時期に活躍した空海は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めており、入試ではこの二人の活動場所と宗派の組み合わせが頻出となります。
問7	答え 1 清少納言	894年の遣唐使停止以降、それまでの中国文化の影響を日本の感性と融合させた「国風文化」が成立しました。清少納言はこの時期に一条天皇の中宮定子に仕え、鋭い観察眼と豊かな感性で随筆『枕草子』を執筆しました。選択肢にある鑑真や聖武天皇は、中国の文化や仏教の影響が強かった奈良時代の人物です。
問8	答え 1 院政 ― 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため	白河天皇は、幼い皇子を天皇に据えつつ、自らは退位して自由な立場の上皇（院）となり、独自の役所を設けて政治を動かしました。これは、藤原氏が摂政や関白として政治に介入する余地を奪い、天皇の父や祖父が政治の主導権を取り戻すことを目的としていました。
問9	答え 1 自然との調和を重視し、池や庭園を眺められるよう建物が廊下で結ばれた寝殿造が用いられた。	「源氏物語絵巻」には、平安時代の貴族の住まいであった寝殿造の内部や庭園の様子が描かれています。寝殿造は、壁が少なく開放的な構造をしており、四季折々の自然を楽しむために池や庭園と一体化した空間作りがなされていました。一方で、畳や床の間が特徴の書院造は、後の室町時代以降に発達した様式です。
問10	答え 1 天皇が幼少である期間に、天皇に代わって国政全般の裁定を下し、実質的な統治権を行使した。	摂政は天皇が自ら政務を執ることができない場合に、その権限を全面的に代行する極めて重要なポストでした。藤原氏は自分の娘を天皇の後（きさき）にし、生まれた子を早くに即位させることで、外祖父（母方の祖父）として摂政の地位に就きました。これにより、天皇が幼いうちから政治の決定権を握り、一族の繁栄を確固たるものにしました。
問11	答え 1 「北面の武士」と呼ばれる独自の軍事力を組織し、自らの身辺警護や寺社の強訴を防がせた	院政を行う上皇は、自らの権力を支えるために「院の近臣」と呼ばれる側近や、「北面の武士」という警護組織を配置しました。この北面の武士には、次第に平氏や源氏といった有力な武士が登用されるようになり、院政期における武士の社会進出を促すきっかけの一つとなりました。
問12	答え 2 平清盛	平清盛は瀬戸内海の制海権を掌握し、日宋貿易の拠点として大輪田泊を整備しました。これにより、平氏一門は莫大な経済力を蓄え、政治の実権を握る基盤としました。源頼朝は鎌倉幕府を開いた人物、足利義満は室町時代の金閣や日明貿易で知られ、北条時宗は元寇の際の執権です。
問13	答え 1 天皇の命令によって、国家の事業として編纂されたため	「勅撰」の「勅」は天皇の命令を意味します。古今和歌集は醍醐天皇の命により、紀貫之・紀友則・凡河内躬恒・壬生忠岑の4人が編纂者となってまとめられました。それまでの万葉集が私的な性格を持つのに対し、国家的な文化事業として位置づけられている点が大きな特徴です。
問14	答え 1 藤原氏	大化の改新で中大兄皇子（天智天皇）とともに活躍した中臣鎌足が、亡くなる直前に「藤原」の姓を賜ったことが一族の始まりです。平安時代に入ると、娘を天皇の後（きさき）にすることで、生まれた皇子を次の天皇に立て、自らは摂政や関白となって権力を独占する摂関政治を確立しました。

- 問1 12世紀後半、武士として初めて太政大臣となった平清盛は、現在の神戸市にあたる大輪田泊を修築し、瀬戸内海の航路を整備しました。清盛が
このように港や航路を整えてまで積極的に行おうとした貿易の相手国である、当時の中国の王朝名を次の中から選びなさい。 (2019年 香川公立入試
類似)
1. 唐 2. 宋 3. 元 4. 明
-
- 問2 平安時代初期、遣唐使として唐に渡り帰国した僧たちの活動について、最澄の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 岐阜公立入試 類似)
1. 比叡山に延暦寺を建立し、天台宗という新しい仏教の宗派を開いた。 2. 高野山に金剛峯寺を建立し、真言宗という新しい仏教の宗派を開いた。 3. 唐での苦難を乗り越えて日本に來日し、唐招提寺を建立して戒律を広めた。 4. 平城京から平安京への遷都に際し、奈良の旧仏教勢力を代表して東大寺を守った。
-
- 問3 平安時代中期、摂政・関白として権勢を誇った藤原頼通が、京都の宇治に建立した阿弥陀堂を何といいますか。当時の貴族の間で流行した、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰を象徴する建築物を選びなさい。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. 平等院鳳凰堂 2. 法隆寺 3. 正倉院 4. 東大寺南大門
-
- 問4 894年に、唐の国勢の衰えや往復の危険性を理由として、遣唐使の派遣を停止することを提案した人物は誰ですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 菅原道真 2. 藤原道長 3. 空海 4. 最澄
-
- 問5 平安時代初期に最澄や空海によって広められた仏教が、それまでの奈良時代の仏教（南都六宗）と比較して持っていた特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 香川公立入試 類似)
1. 政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した 2. 国家の保護を強く受け、都に巨大な大仏や国分寺を建立して国を治めようとした 3. 読み書きができない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説いた 4. 武士の精神的支柱として、座禅を組むことで悟りを開こうとした
-
- 問6 平安時代後期、東北地方の平泉を拠点として三代にわたって栄え、金箔で覆われた豪華な仏堂である中尊寺金色堂を建立するなど、独自の仏教文化を繁栄させた一族を何と呼びますか。 (2021年 大阪公立入試 類似)
1. 奥州藤原氏 2. 平氏 3. 北条氏 4. 足利氏
-
- 問7 平安時代中期、藤原道長や頼通の親子が権勢を誇った時期の政治体制について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 高知公立入試 類似)
1. 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を天皇に立て、自らは天皇の母方の親戚（外戚）として政治の実権を握った。 2. 天皇が位を譲って上皇となり、摂政や関白の力を抑えて、御所の中に設けた役所で直接政治を行った。 3. 天皇から征夷大將軍の職を授かり、地方の武士を統率する幕府を開くことで、独自の法律に基づいた統治を行った。 4. 遣唐使を廃止して国風文化を振興し、聖徳太子の定めた冠位十二階に基づき、家柄に囚われない人材登用を行った。
-
- 問8 平清盛が、現在の兵庫県神戸市にあたる大輪田泊（兵庫の港）を大規模に改修し、瀬戸内海の航路を整備した目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口公立入試 類似)
1. 中国の宋との貿易を本格化させ、その経済的利益によって平氏一族の政治的基盤を固めるため 2. 明との間で勘合を用いた貿易を開始し、倭寇による海賊行為を防ぎながら利益を得るため 3. 元（モンゴル帝国）の軍勢が九州へ侵攻してきた際に、水軍を派遣して防衛するための拠点とするため 4. 遣唐使を派遣するための大型船を建造し、大陸の進んだ仏教文化を効率よく取り入れるため
-
- 問9 国風文化の特色の一つとして、日本人の感情を細やかに表現できるようになったことが挙げられます。この背景にある、文字の成立に関する説明として最も適切なものを選んでください。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
1. 漢字をくずしたり、その一部をとったりして作られた「かな文字」が普及した。 2. 朝鮮半島から伝わった「ハングル」をもとに、日本語の音に合わせた文字が作られた。 3. 仏教の経典を正確に写経するために、サンスクリット語をもとにした文字が使われた。 4. キリスト教の布教とともに伝わったローマ字が、貴族の間で急速に広まった。
-
- 問10 平安時代中期に行われた摂関政治について述べた文として、当時の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2026年 島根公立入試 類似)
1. 藤原氏が摂政や関白の職を独占し、天皇を補佐する形式をとりながら、実質的な政治の決定権を掌握した。 2. 聖徳太子が摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を制定して、天皇を中心とした国づくりを目指した。 3. 白河上皇が退位した後に、天皇に代わって政治を行う仕組みを整え、藤原氏の勢力を抑えようとした。 4. 平氏が太政大臣の職に就き、一族で高い役職を占めることで、武家として初めて政治の実権を握った。
-
- 問11 平安時代末期の年表において、平氏が権力を握っていた時期に行われた、中国の王朝との交流の名称と主導した人物の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2026年 静岡公立入試 類似)
1. 日宋貿易 — 平清盛 2. 日宋貿易 — 平将門 3. 日唐貿易 — 平清盛 4. 日元貿易 — 平氏一門
-
- 問12 894年に遣唐使が廃止されたことを一つの契機として、平安時代の中期に発達した、日本の風土や日本人の生活・感情に合わせた独自の文化を何と呼びますか。 (2023年 岐阜公立入試 類似)
1. 国風文化 2. 弘仁・貞観文化 3. 飛鳥文化 4. 天平文化
-
- 問13 香川県（当時の讃岐国）出身の人物で、唐に渡って密教を学び、帰国後に高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた人物はだれですか。 (2024年 香川公立入試 類似)
1. 最澄 2. 空海 3. 鑑真 4. 行基
-
- 問14 平安時代の文化において、藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂に代表される、阿弥陀如来を信仰して極楽浄土への往生を願う信仰を何といいますか。また、その建築の特徴として正しい説明を選びなさい。 (2023年 富山公立入試 類似)
1. 浄土信仰（浄土教）に基づき、阿弥陀堂を池の中に配置して極楽の宮殿のように仕立てた 2. 禅宗に基づき、石や砂だけで自然の風景を表現する枯山水の庭園を備えた 3. 念仏札を配り歩く踊念仏の拠点として、全国の主要な街道沿いに建立された 4. 武家社会の風習を取り入れ、質実剛健な書院造の様式を初めて採用した

答え合わせ・解説

問1	答え 2 宋	平清盛は、平安時代末期に日宋貿易を推進することで平氏の経済的基盤を固めました。当時、貿易の拠点として大輪田泊（現在の兵庫県神戸市）を整備し、瀬戸内海の航路を確保することで、宋から輸入される銅銭（宋銭）や陶磁器、香料などを手に入れ、絶大な権力を握る背景となりました。
問2	答え 1 比叡山に延暦寺を建立し、天台宗という新しい仏教の宗派を開いた。	最澄は804年に遣唐使として唐へ渡り、帰国後に比叡山を拠点に天台宗を確立しました。同じ遣唐使の船で渡った空海が高野山に金剛峯寺を建てたことや、奈良時代に苦難の末に來日した鑑真の事績と区別することが正解へのポイントとなります。
問3	答え 1 平等院鳳凰堂	藤原氏による摂関政治の全盛期に、藤原道長の子である頼通によって建立されました。当時の社会に広がっていた「末法思想」を背景に、阿弥陀如来を信じて極楽浄土への往生を願う浄土信仰（浄土教）が具現化されたものです。屋根に据えられた鳳凰などが特徴で、10円硬貨のデザインにも採用されています。
問4	答え 1 菅原道真	当時の中国（唐）の情勢が不安定であったことや、遣唐使がたどる航路の危険性を考慮し、無駄な犠牲を避けるために派遣の中止を訴えました。この決定により、日本は中国の文化を咀嚼し、独自の国風文化を育む時期へと移行していくことになります。
問5	答え 1 政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した	奈良時代の仏教が政治と密接に関わり、都にある東大寺などの寺院が権力を持っていたのに対し、平安時代初期の天台宗（最澄）や真言宗（空海）は、比叡山や高野山といった山の中に寺を建て、世俗から離れて修行することを重んじました。念仏による救済は鎌倉新仏教、座禅は鎌倉時代の禅宗の特徴です。
問6	答え 1 奥州藤原氏	奥州藤原氏は清衡・基衡・秀衡の三代にわたり、現在の岩手県平泉を中心に東北地方を支配しました。中尊寺金色堂は、当時東北で産出された豊富な金を使用した建築物であり、その豪華な装飾は一族の強大な経済力と、仏教による平和な国づくりを目指した思想を象徴しています。
問7	答え 1 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を天皇に立て、自らは天皇の母方の親戚（外戚）として政治の実権を握った。	藤原氏は、娘を天皇と結婚させて生まれた子（孫）を次の天皇に即位させることで、強力な血縁関係（外戚関係）を築きました。この立場を利用して、天皇が幼少の間は「摂政」、成人してからは「関白」の職に就き、政治を思いのままに動かしました。これが摂関政治の仕組みです。
問8	答え 1 中国の宋との貿易を本格化させ、その経済的利益によって平氏一族の政治的基盤を固めるため	平清盛は、従来の貴族による政治とは異なり、大陸との経済的な結びつきを重視しました。大輪田泊（兵庫の港）を整備して日宋貿易を推進した背景には、宋から輸入される宋銭を国内で流通させたり、高価な品々を扱うことで得られる経済力を、平氏の権力を維持するための資金源にするという狙いがありました。他の選択肢にある勘合貿易は室町時代、元への防衛は鎌倉時代、遣唐使はより古い時代の出来事です。
問9	答え 1 漢字をくずしたり、その一部をとったりして作られた「かな文字」が普及した。	国風文化の時期には、漢字の草書体をさらにくずした「平仮名」や、漢字の一部からとった「片仮名」が考案されました。これにより、漢字だけでは表現しにくかった日本人の微妙な感情や言葉を自由に書き表せるようになり、『源氏物語』や『枕草子』といった優れた女流文学が生まれる大きな要因となりました。
問10	答え 1 藤原氏が摂政や関白の職を独占し、天皇を補佐する形式をとりながら、実質的な政治の決定権を掌握した。	藤原道長や頼通の親子が約50年間にわたり摂政・関白を務めた時期に、摂関政治は全盛期を迎えました。彼らは公文書の作成や人事権を握り、華やかな貴族文化を背景に絶大な権力を行使しました。他の選択肢は、飛鳥時代、院政期、または武家政権の説明です。
問11	答え 1 日宋貿易 ― 平清盛	平安時代末期に太政大臣として政権を掌握した平清盛は、瀬戸内海の航路を整備し、中国の宋王朝との間で日宋貿易を本格化させました。平将門は平安時代中期に関東で反乱を起こした人物であり、貿易を主導した事実はありません。また、当時の中国の王朝は宋（北宋・南宋）であり、唐や元とは時期が重なりません。
問12	答え 1 国風文化	菅原道真の建議によって遣唐使の派遣が停止されたことで、それまでの中央集権的な唐の文化を模倣する段階から、日本の独自の感性や生活様式を取り入れる段階へと移行しました。この時期に開花した日本独自の文化を国風文化と呼びます。
問13	答え 2 空海	空海は現在の香川県にあたる讃岐国の出身で、唐から帰国した後に真言宗を伝え、高野山に金剛峯寺を開きました。選択肢にある鑑真や行基は奈良時代に活躍した人物であり、最澄は同時期の人物ですが、比叡山延暦寺を拠点に天台宗を広めた点が異なります。
問14	答え 1 浄土信仰（浄土教）に基づき、阿弥陀堂を池の中に配置して極楽の宮殿のように仕立てた	藤原頼通の時代には国風文化が全盛を極め、貴族の間で浄土信仰（浄土教）が深く浸透しました。平等院鳳凰堂は、その信仰を具体化したもので、阿弥陀仏が住む極楽浄土の宮殿を模して造られています。池の中央に中堂を置き、左右に翼廊を広げた姿は、まさに阿弥陀仏が迎えてくれる世界を表現しています。枯山水や書院造はのちの時代の文化の特徴であり、踊念仏は鎌倉時代の時宗に見られる特徴です。

- 問1 平安時代、藤原氏が天皇の外戚（母方の親戚）として権力を握った政治体制において、天皇が幼少のときにその代わりを務めた役職と、天皇が成人した後にその補佐を執り行った役職の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2020年 徳島公立入試 類似）
- 摂政と関白
 - 将軍と執権
 - 太政大臣と右大臣
 - 上皇と法皇
- 問2 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本の風土に合った国風文化が栄えました。この時期にかな文字を用いて執筆され、主人公である光源氏の生涯を描いた、世界最古の長編小説とも評される文学作品を選びなさい。（2024年 島根公立入試 類似）
- 源氏物語
 - 枕草子
 - 更級日記
 - 竹取物語
- 問3 11世紀後半、白河天皇が位を譲って上皇（太上天皇）となった後も、宮中（院）において政治の実権を握った政治形態を何と呼びますか。最も適切な語句を選びなさい。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
- 院政
 - 摂関政治
 - 執権政治
 - 建武の新政
- 問4 11世紀後半、東北地方で起きた前九年合戦や後三年合戦などの戦乱を鎮圧した源義家が、東日本における武士の棟梁（指導者）としての地位を固めることができた歴史的背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2017年 徳島公立入試 類似）
- 朝廷から戦功に対する恩賞が出ない中、義家が私財を投じて部下に報いたことで、武士たちとの間に強い主従関係が築かれたため。
 - 平氏一門を西日本へ追い払い、京都の朝廷から東日本全域の支配権を正式に認められたため。
 - 鎌倉に幕府を開き、御家人に対して領地の保証を行う「御恩と奉公」の仕組みを確立したため。
 - 承久の乱において上皇方の軍勢を破り、朝廷に対する武士の優位性を決定づけたため。
- 問5 平安時代初期、最澄が唐から伝えた仏教の宗派と、その修行の拠点となった場所の組み合わせとして正しいものを次の中から選びなさい。（2024年 愛媛公立入試 類似）
- 天台宗 — 比叡山延暦寺
 - 真言宗 — 高野山金剛峯寺
 - 天台宗 — 高野山金剛峯寺
 - 真言宗 — 比叡山延暦寺
- 問6 11世紀後半に白河天皇が始めた、天皇が位を譲って上皇となった後も引き続き政治の実権を握る政治形態を何といいますか。藤原氏が摂政や関白として権力を振るった「摂関政治」を抑える意図で行われたものを選択してください。（2024年 岐阜公立入試 類似）
- 院政
 - 執権政治
 - 親政
 - 幕政
- 問7 平安時代の遺跡から出土する青磁（陶磁器）は、当時の文学作品の中にも、貴族の生活を彩る貴重な品物として描写されることがあります。このように、中国の大陸から輸入された品物を取り入れつつも、日本の風土や好みに合わせた独自文化が発達した時代の文化を何と呼びますか。（2024年 栃木公立入試 類似）
- 飛鳥文化
 - 天平文化
 - 弘仁・伴野文化
 - 国風文化
- 問8 奈良時代には『万葉集』に見られるように、漢字の音や訓を日本語の表記にあてはめた「万葉仮名」が使われていましたが、平安時代になると、漢字を簡略化するなどして日本独自の文字が作られました。この文字が普及したことで、人々の感情や生活を細やかに表現できるようになった日本独自の文化を何と呼びますか。（2019年 長野県公立入試 類似）
- 国風文化
 - 飛鳥文化
 - 天平文化
 - 弘仁・貞観文化
- 問9 菅原道真が遣唐使の停止を建議したことによって、その後の平安貴族の生活や文化にどのような影響を与えましたか。最も適切な説明を選びなさい。（2023年 北海道公立入試 類似）
- 大陸の文化を日本の風土や好みに合わせて消化・吸収した、日本独自の国風文化が発達した。
 - 中国の律令制度をそのまま導入することで、天皇を中心とする中央集権的な政治体制が完成した。
 - 唐の先進的な土木技術を導入したことにより、全国で大規模な開墾が進み、班田収授の法が厳格に運用された。
 - 日本独自の文字である「かな文字」の使用が禁止され、すべての公文書を漢文で記す習慣が定着した。
- 問10 平安時代末期に成立した平氏政権の特色について、その背景や仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
- 後白河上皇に仕える武士勢力の中で台頭し、武士として初めて太政大臣となった平清盛が、一門で官職を独占して政治の実権を握った。
 - 朝廷から征夷大將軍に任命された源頼朝が、鎌倉に幕府を開いて全国の武士を御家人として統制する仕組みを整えた。
 - 後醍醐天皇による建武の新政に反旗を翻した足利尊氏が、京都に幕府を開き、守護の権限を強めることで全国を支配した。
 - 有力な戦国大名であった織田信長が、足利義昭を追放して室町幕府を滅ぼし、実力によって天下統一を進める新たな支配体制を築いた。
- 問11 1156年に発生した保元の乱は、平安時代末期の政治状況を大きく変えるきっかけとなりました。この政変の直接的な原因となった、当時の朝廷内における対立関係を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2022年 島根公立入試 類似）
- 院政の実権をめぐる、上皇と天皇による主導権争い
 - 将軍の跡継ぎ問題をきっかけとした、守護大名同士の勢力争い
 - 武家政権の樹立を目指す武士団による、朝廷への反乱
 - 摂関政治を維持しようとする藤原氏と、新興武士層との対立
- 問12 藤原道長が「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることもなしと思えば」という歌を詠んだ時期の、藤原氏の権力の背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 愛媛公立入試 類似）
- 自らの娘を次々と天皇の后に入れ、その子を天皇に即位させることで、天皇の母方の祖父（外祖父）として強い影響力を持った。
 - 地方の有力な武士団を武力で制圧し、全国の公領や荘園から徴収する年貢を独占することで、経済的な基盤を確立した。
 - 遣唐使や遣唐使を積極的に派遣して大陸の最新の政治制度を取り入れ、天皇を中心とする律令国家体制を再構築した。
 - 天皇の位を退いて上皇となり、天皇に代わって院の庁で政治を行う「院政」の仕組みを確立することで実権を維持した。
- 問13 平安時代末期、平氏の領袖である平清盛が、現在の神戸港にあたる大輪田泊を大規模に修築した主な目的として最も適切なものはどれですか。（2017年 大阪公立入試 類似）
- 中国の宋との貿易を拡大させ、経済的な基盤を強化するため
 - 東国から送られてくる年貢米を効率よく保管し、朝廷に献上するため
 - 元寇によるモンゴル軍の襲来に備え、瀬戸内海の防衛を固めるため
 - キリスト教の布教を許可し、南蛮貿易を促進するための拠点とするため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 摂政と関白	平安時代中期、藤原氏は自分の娘を天皇の妃にし、生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の祖父や叔父として政治の実権を握りました。このとき、天皇がまだ幼い時期には「摂政」として、成人してからは「関白」として政務を独占する形態を摂関政治と呼びます。藤原道長やその子の頼通の時代に、この政治体制は全盛期を迎えました。
問2	答え 1 源氏物語	平安時代には、漢字を日本風に崩した「かな文字」が普及したことで、貴族の女性らによる優れた文学作品が多く誕生しました。一条天皇の後である彰子に仕えた紫式部は、当時の貴族社会の人間模様を精密に描いた『源氏物語』を執筆しました。これは全54帖からなる壮大な長編小説であり、日本を代表する古典文学として知られています。
問3	答え 1 院政	1086年に白河上皇が始めた政治の仕組みです。それまで藤原氏が摂政や関白として権力を振るっていた「摂関政治」を抑え、天皇の父や祖父である上皇が自らの子孫に皇位を継がせながら政治を主導しました。この仕組みは、のちに武士である平清盛が台頭する12世紀後半まで、政治の大きな流れとなりました。
問4	答え 1 朝廷から戦功に対する恩賞が出ない中、義家が私財を投じて部下に報いたことで、武士たちとの間に強い主従関係が築かれたため。	源義家は東北の戦乱を平定しましたが、朝廷はこれを「私的な争い」とみなして恩賞を与えませんでした。これに対し義家は、自らの私有地などを部下に分け与えることで、東日本の武士たちと強固な信頼関係を構築しました。この絆が、後の源頼朝による鎌倉幕府成立を支える基盤となりました。
問5	答え 1 天台宗 — 比叡山延暦寺	最澄は平安時代の初めに遣唐使として中国（唐）に渡り、帰国後に天台宗を伝えました。彼は滋賀県と京都府の境に位置する比叡山に延暦寺を建立し、そこを修行の拠点としました。同時期に空海によって開かれた真言宗（高野山金剛峯寺）と混同しやすいため、人物・宗派・寺院の名称を正しく一致させることが重要です。
問6	答え 1 院政	白河天皇は、幼い子に天皇の位を譲って自らは上皇（じょうこう）となり、独自の役所を設けて政治を行いました。これにより、天皇の外戚（母方の親戚）として権力を握っていた藤原氏の影響力を排除し、自分の子孫に確実に皇位を継承させていく基盤を固めました。
問7	答え 4 国風文化	894年の遣唐使廃止後、日本は大陸の文化をただ模倣するだけでなく、それらを日本の生活や好みに合わせて消化・吸収しました。これを国風文化と呼びます。紫式部の『源氏物語』は、当時の輸入陶磁器である青磁などの豪華な生活用品や、寝殿造の住宅を舞台とした、この文化の最盛期を代表する作品です。
問8	答え 1 国風文化	遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発展しました。これを国風文化と呼びます。この時代、万葉仮名を崩したり一部を取ったりすることで、日本独自の文字である「かな文字」が生まれ、和歌や物語などの文学が発展する大きな要因となりました。
問9	答え 1 大陸の文化を日本の風土や好みに合わせて消化・吸収した、日本独自の国風文化が発達した。	遣唐使の停止により、大陸からの直接的な文化の流入が制限されました。これにより、それまでに取り入れた唐風の文化を、日本の気候や日本人の感性に合うように作り変える動きが強まりました。その結果、かな文字の使用や、寝殿造、大和絵、和歌の隆盛といった「国風文化」が花開くことになりました。
問10	答え 1 後白河上皇に仕える武士勢力の中で台頭し、武士として初めて太政大臣となった平清盛が、一門で官職を独占して政治の実権を握った。	平氏政権は、上皇の執務を支える軍勢力として成長した平清盛が、貴族社会の仕組みを利用して権力を手中に収めた点に特徴があります。清盛は武士として初めて太政大臣となり、一族で多くの知行国や官職を占めることで、伝統的な貴族政治の延長線上において武士による初の政権を樹立しました。
問11	答え 1 院政の実権をめぐる、上皇と天皇による主導権争い	平安時代末期、鳥羽法皇の死後、崇徳上皇と後白河天皇の間で「院政」の実権をめぐる対立が激化しました。この皇位継承や朝廷の主導権をめぐる争いに、藤原氏内部の対立や源氏・平氏などの武士が巻き込まれる形で武力衝突に至ったのが保元の乱です。選択肢にある「將軍の跡継ぎ問題」は室町時代の応仁の乱などの特徴であり、この時期の状況とは異なります。
問12	答え 1 自らの娘を次々と天皇の后に入れ、その子を天皇に即位させることで、天皇の母方の祖父（外祖父）として強い影響力を持った。	藤原道長は、4人の娘を次々と天皇の后（中宮や女御）にしました。その結果、3人の天皇の「外祖父（母方の祖父）」となり、摂政として圧倒的な権力を手にしました。この全盛期の満足感を歌ったのが「望月の歌」です。
問13	答え 1 中国の宋との貿易を拡大させ、経済的な基盤を強化するため	平清盛は武士として初めて太政大臣という最高位に就くとともに、瀬戸内海の制海権を掌握しました。当時の中国王朝である宋との「日宋貿易」を積極的に進めるため、大型船が停泊できるよう大輪田泊（現在の兵庫県神戸市）を修築し、莫大な富を得ることで平氏の全盛期を築きました。

- 問1 藤原道長は、四人の娘を次々と天皇の后に送り込み、三人の天皇の母方の祖父となることで、摂関政治の全盛期を築きました。このように藤原氏が「外戚」という立場を重視した理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2021年 高知公立入試 類似)
1. 当時の政治権力の正当性が、実力や法律よりも、天皇との血縁関係の強さに依存していたから。
 2. 律令制度によって、摂政や関白の職は必ず天皇の祖父が務めるべきだと厳格に定められていたから。
 3. 武士の勢力が台頭しており、軍事力に対抗するために皇室との団結を誇示する必要があったから。
 4. 仏教の教えに基づき、親族が協力して政治を行うことが理想の国家像であると考えられていたから。
- 問2 平安時代後期、仏教の教えが衰える時代が来るとされる「末法思想」の影響により、貴族から民衆に至るまで広く普及した信仰があります。藤原頼通が宇治に平等院鳳凰堂を建立する動機となった、念仏を唱えて極楽浄土への往生を願うこの信仰を何といいますか。 (2025年 山梨公立入試 類似)
1. 浄土信仰
 2. 禅宗
 3. 法華信仰
 4. 密教
- 問3 平安時代初期、朝廷が東北地方に住む蝦夷と呼ばれる人々の平定を進めた主な目的と、その後の経過について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2017年 静岡公立入試 類似)
1. 東北地方まで朝廷の支配力が及ぼそうとしたが、多大な軍費と労力が民衆の負担となったため、後に平安京の造営とともに事業が停止された。
 2. 防人を配置して北方の守りを固めるため、坂上田村麻呂を派遣して、現在の九州地方にある大宰府を中心に支配を広げた。
 3. 御家人と呼ばれる武士たちに土地の支配を認める代わりに、東北地方の特産品を朝廷に納めさせる仕組みを整えた。
 4. 仏教の力で国家を守るために、東北地方の各地に国分寺や国分尼寺を建立し、争いを避けて平和的な統治を目指した。
- 問4 平安時代中期、藤原氏が自身の娘を天皇の妃とし、その子を天皇に立てることで政治の実権を握りました。天皇が幼少のときはその後見人として、成人してからはその補佐役として政治を行ったこの体制を何といいますか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 摂関政治
 2. 院政
 3. 律令政治
 4. 幕府政治
- 問5 平安時代の藤原道長と、平安時代末期の平清盛の権力掌握について述べた次の文のうち、その背景や手法として誤っているものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 藤原道長は、自分の娘たちを次々と天皇の后に入れることで、複数の天皇の「外戚」として権力を独占した。
 2. 平清盛は、武力で政治を支配する一方で、藤原氏と同じように天皇と婚姻関係を結ぶことで政権の正当性を得ようとした。
 3. 藤原氏や平氏が外戚として政治を行ったのは、天皇が幼少の際などに「摂政」や「関白」として補佐する仕組みがあったからである。
 4. 藤原道長も平清盛も、天皇が位を譲った後の「上皇」として政治を行うことで、摂政や関白の権限を無力化させた。
- 問6 平安時代の政治史において、藤原道長の娘である彰子が一条天皇の后となり、後の後一条天皇が生まれた流れと、平清盛の娘である徳子が高倉天皇の后となり、安徳天皇が生まれた流れには共通点があります。これらの事例から読み取れる、平氏の政治手法の背景として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山形公立入試 類似)
1. 天皇の母方の親戚という立場を利用し、摂関家と同様の仕組みで朝廷の権力を握ろうとした。
 2. 武力によって天皇を退位させ、武士独自の新しい政治制度を樹立しようとした。
 3. 上皇が政治を行う「院政」を支える組織として、独自の軍事貴族の地位を確立しようとした。
 4. 地方の武士団を直接統制するために、各国に守護を配置して軍事的なネットワークを構築した。
- 問7 平安時代、894年に遣唐使が停止されたことをきっかけとして、日本独自の風土や感覚に合わせた文化が発達しました。この文化の名称として正しいものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 国風文化
 2. 天平文化
 3. 飛鳥文化
 4. 桃山文化
- 問8 平安時代の皇族と藤原氏のつながりを示す系図において、藤原道長が自分の娘である彰子などを次々と天皇の后（きさき）にし、その子供が天皇に即位する流れが繰り返されていることがわかります。藤原氏がこのようにして権力を独占した手法と目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 天皇の母方の祖父（外戚）という立場を確立し、天皇を後見することで政治の実権を握るため
 2. 武士団を組織して軍事的な圧力をかけ、太政官などの伝統的な行政組織を廃止するため
 3. 天皇の位を廃止して、藤原氏自らが新しい王朝を開くための正当性を得るため
 4. 遣唐使を通じて得た海外の知識を独占し、天皇を政治から遠ざけて知識層による共和制を行うため
- 問9 国風文化が栄えた平安時代の貴族の生活空間において、広い庭園を囲むように中心となる建物と周囲の建物が廊下で結ばれた建築様式を何といいますか。 (2022年 京都公立入試 類似)
1. 寝殿造
 2. 書院造
 3. 合掌造
 4. 武家造
- 問10 平安時代初期、最澄は唐に渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建立して新しい宗派を広めました。この宗派の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 三重公立入試 類似)
1. 天台宗
 2. 真言宗
 3. 浄土宗
 4. 臨済宗
- 問11 平清盛が推し進めた対外政策の目的と内容について、当時の時代背景を踏まえた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 瀬戸内海の制海権を握り、大輪田泊を整備して宋から輸入した銅銭を国内に流通させた。
 2. 勘合を用いて倭寇を区別し、明との間で公的な貿易を行い銀や刀剣を輸出した。
 3. 遣唐使を派遣して大陸の優れた律令制度や仏教文化を導入し、天皇中心の国づくりを目指した。
 4. 元寇による脅威に対抗するため、博多湾沿岸に石築地を築き防衛を強化した。
- 問12 日本の古代における文化の変遷について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。なお、古代の政治と暮らしを対比させた資料によると、律令政治が確立した時期から、文字の使用状況に大きな変化が見られたことが示されています。 (2020年 滋賀公立入試 類似)
1. 奈良時代には遣唐使によって唐の優れた文化が伝えられ、正倉院の宝物に代表されるような国際色豊かな文化が栄えた。その後、平安時代には日本人の生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字が広く使われるようになった。
 2. 飛鳥時代にはかな文字を用いた和歌が広く親しまれ、奈良時代になると聖徳太子を中心に遣唐使が派遣されて、正倉院に納められるような大陸の仏教文化が日本に初めて伝えられた。
 3. 奈良時代に菅原道真の建議で遣唐使が廃止されたことで、漢字を捨ててかな文字のみを用いる国風文化が誕生し、平安時代には正倉院に見られるような国際的な仏教文化が全盛期を迎えた。
 4. 飛鳥時代から始まった国風文化は、奈良時代の遣唐使の往来によって国際的な要素を取り入れて洗練され、平安時代に入るとかな文字の普及によって正倉院の建築様式に大きな影響を与えた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 当時の政治権力の正当性が、実力や法律よりも、天皇との血縁関係の強さに依存していたから。	摂関政治は、天皇を母方から支えるという血縁関係に基づいた私的な権力構造でした。法律（律令）に明文化された職権以上に、「天皇の祖父や伯父である」という家族的な地位が政治的な発言力の源泉となっていたため、藤原氏は必死に娘を后にし、男子が生まれることを願ったのです。のちに藤原氏を母に持たない後三条天皇が即位したことで、この政治体制は崩壊へと向かいました。
問2	答え 1 浄土信仰	平安時代中期から、社会の混乱を背景に「浄土信仰」が盛んになりました。平等院鳳凰堂はその信仰を視覚的に表現した最高傑作とされ、内部には美しい阿弥陀如来像が安置されています。この文化は国風文化の一つに分類されます。
問3	答え 1 東北地方まで朝廷の支配力を及ぼそうとしたが、多大な軍費と労力が民衆の負担となったため、後に平安京の造営とともに事業が停止された。	朝廷は律令国家の支配領域を拡大するために東北地方へ進出しましたが、蝦夷の強力な抵抗に遭い、戦争は長期化しました。長引く戦争（軍事）と新都・平安京の建設（造作）は国家財政を圧迫し、農民の生活を困窮させました。805年、藤原緒嗣が「民衆が苦しんでいるのはこの二つの事業のせいである」と主張し、桓武天皇がその意見を受け入れたことで方針が転換されました。
問4	答え 1 摂関政治	藤原氏が天皇の母方の親戚（外戚）という立場を利用して、摂政や関白の職を独占した政治形態を指します。11世紀の藤原道長・頼通の親子の時代に全盛期を迎えました。これに対し、天皇が位を譲った後に上皇として行う政治を「院政」と呼び、区別する必要があります。
問5	答え 4 藤原道長も平清盛も、天皇が位を譲った後の「上皇」として政治を行うことで、摂政や関白の権限を無力化させた。	上皇（または法皇）として政治を行う「院政」を始めたのは白河上皇であり、藤原氏や平氏の権力掌握手法とは異なります。藤原道長や平清盛は、あくまで天皇の母方の祖父（外戚）という立場から、摂政や関白、あるいは太政大臣といった朝廷の役職を通じて政治を動かしました。院政は、こうした外戚（摂関家）による支配に対抗するために始まった仕組みという側面があります。
問6	答え 1 天皇の母方の親戚という立場を利用し、摂関家と同様の仕組みで朝廷の権力を握ろうとした。	平清盛は、藤原氏が全盛期を築いた「摂関政治」のモデルを継承しました。具体的には、娘を天皇の妃に送り込み、誕生した皇子を天皇に即位させることで、自らが天皇の祖父（外戚）として権力を振るう手法です。これにより、平氏は単なる武士団のリーダーとしてだけでなく、朝廷の最高権力者としての地位を固めました。一方で、この急速な権力集中は他の貴族や武士、寺社勢力の反発を招く原因にもなりました。
問7	答え 1 国風文化	菅原道真の建議によって遣唐使が停止されたことで、中国（唐）の影響を受けつつも、日本の風土や生活感覚に合わせた独自の「国風文化」が開花しました。この時期には、漢字を簡略化した「かな文字」が発明され、日本人の心情を豊かに表現できるようになりました。
問8	答え 1 天皇の母方の祖父（外戚）という立場を確立し、天皇を後見することで政治の実権を握るため	藤原氏は「外戚（がいせき）」、つまり天皇の母方の親戚となることで、宮廷内での発言力を極限まで高めました。藤原兼家や道長は、娘を天皇の妃として送り込み、生まれた皇子が即位すると、その祖父として摂政などの要職に就きました。これは武力によるクーデターではなく、当時の婚姻制度や家族形態を利用した権力独占の仕組みです。
問9	答え 1 寝殿造	国風文化の代表的な建築様式である寝殿造は、貴族の邸宅に用いられました。池や木々を配置した庭園の景観を重視し、風通しの良い開放的な構造が特徴です。これは日本の自然環境や貴族の生活習慣に適応した建築の形といえます。
問10	答え 1 天台宗	平安時代初期、桓武天皇の支持を受けた最澄は、比叡山（滋賀県・京都府の境）に延暦寺を建て、天台宗を広めました。同時期に空海が伝えた真言宗とともに、当時の貴族の間に深く浸透しました。
問11	答え 1 瀬戸内海の制海権を握り、大輪田泊を整備して宋から輸入した銅銭を国内に流通させた。	平清盛は、日宋貿易を通じて宋銭（銅銭）を大量に輸入し、これを国内で流通させることで、土地の支配に頼らない独自の経済力を手に入れようとしてしました。また、瀬戸内海の海賊を平定して航路の安全を確保し、自身の拠点である福原に近い大輪田泊を整備したことも、平氏の全盛期を築く大きな要因となりました。
問12	答え 1 奈良時代には遣唐使によって唐の優れた文化が伝えられ、正倉院の宝物に代表されるような国際色豊かな文化が栄えた。その後、平安時代には日本人の生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字が広く使われるようになった。	奈良時代は、遣唐使によってもたらされた唐の文化や、シルクロードを経由した西アジア・インドなどの影響を強く受け、聖武天皇の遺品などが納められた正倉院の宝物に見られるような国際的な天平文化が栄えました。続く平安時代には、遣唐使の停止などをきっかけに、日本の風土や生活感覚に合わせた国風文化が発達しました。その過程で、漢字を簡略化した「かな文字」が考案され、物語や日記などの文学が発展しました。

- 問1 日本の外交史をまとめた年表において、607年に小野妹子を遣隋使として派遣し大陸の制度を取り入れようとした政治家と、894年に唐の衰退などを理由に遣唐使の停止を建議した政治家の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 聖徳太子と菅原道真 2. 聖徳太子と藤原道長 3. 中臣鎌足と菅原道真 4. 中臣鎌足と藤原道長
-
- 問2 11世紀後半から12世紀後半にかけて、現在の岩手県にある平泉を拠点とし、独自の行政と豊かな文化を築いて東北地方を広く支配した勢力の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 静岡公立入試 類似)
1. 奥州藤原氏 2. 伊達氏 3. 鎌倉北条氏 4. 多賀城の国司
-
- 問3 平安時代後期、後三条天皇が設置した「記録荘園券文所」において、書類の不備がある荘園を没収し、土地の計量基準を統一しようとした政策を何といいますか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 延久の荘園整理令 2. 地租改正 3. 班田収授の法 4. 太閤検地
-
- 問4 平安時代末期、白河上皇の邸宅跡からは当時の高度な文化を示す青磁などが発掘されています。このように、天皇が位を譲った後も「上皇」として自らの居所で政治の実権を握り、天皇に代わって政治を執り行う形態を何と呼びますか。 (2024年 栃木公立入試 類似)
1. 院政 2. 摂関政治 3. 武家政治 4. 合議制
-
- 問5 白河天皇が1086年に天皇の位を退いた後も、上皇として政治の実権を握り続けた「院政」が成立した目的として、最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 香川公立入試 類似)
1. 藤原氏による摂関政治の影響を排除し、皇室が自ら政治の主導権を握るため 2. 源氏や平氏といった武士の台頭を抑え、貴族のみによる合議制を復活させるため 3. 遣唐使を廃止し、国風文化をさらに発展させるための新しい教育制度を作るため 4. 鎌倉に幕府を開き、全国の守護や地頭を統制するための軍事的な基盤を作るため
-
- 問6 平安時代、藤原道長などの藤原北家が政治の実権を握るために用いた手法について、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2025年 岡山公立入試 類似)
1. 自分の娘を天皇と結婚させ、その間に生まれた子を次の天皇に即位させることで、天皇の祖父として実権を握った。 2. 地方の武士団を武力で圧倒し、その軍事力を背景に天皇から政治全般の委任を受けた。 3. 仏教の教えを政治に取り入れるため、自らが出家して上皇となり、天皇に代わって政治を行う仕組みを整えた。 4. 海外との貿易を独占して莫大な富を蓄え、その経済力によって貴族たちの支持を集めて権力を維持した
-
- 問7 最澄が比叡山に延暦寺を建立した際、この寺院が担ったとされる平安京との地理的な関係や役割として、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 平安京から見て不吉な方角とされる北東（鬼門）に位置し、都を災いから守る役割を担った。 2. 奈良の旧仏教勢力との連携を深めるため、平城京と平安京の中間地点に建設された。 3. 遣唐使が東シナ海へ出発する際の航海安全を祈願するため、難波津に近い山に建設された。 4. 天皇の住まいである御所のすぐ隣に配置され、政治の意思決定を直接補佐する役割を担った。
-
- 問8 古今和歌集の編纂の中心人物であり、かな文字を用いた日記文学の先駆けである『土佐日記』の著者としても知られる人物は誰ですか。 (2022年 三重公立入試 類似)
1. 紀貫之 2. 山上憶良 3. 藤原定家 4. 紫式部
-
- 問9 平安時代末期の東北地方において、奥州藤原氏が平泉に中尊寺金色堂などの壮大な寺院を建立した背景として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 長引く戦乱で亡くなった人々を敵味方の区別なく供養し、仏教による平和な理想郷を築こうとしたため。 2. 鎌倉幕府の軍事的な圧力を退けるため、強固な城郭を兼ねた宗教施設を整備する必要があったため。 3. 朝廷から派遣された国司に対抗するため、独自の律令制度を確立しようという政治的意図があったため。 4. 大陸との貿易によって得られた膨大な富を誇示し、宋の建築様式をそのまま日本に再現しようとしたため。
-
- 問10 平安時代初期、現在の東北地方に居住し、朝廷の支配が十分に及んでいなかった人々を指す名称として正しいものはどれですか。 (2020年 島根公立入試 類似)
1. 蝦夷 2. 渡来人 3. 南蛮人 4. 隼人
-
- 問11 8世紀から9世紀にかけて、朝廷が東北地方への支配を拡大していく過程で、蝦夷の抵抗を抑え込むために坂上田村麻呂が任命された役職は何ですか。 (2020年 島根公立入試 類似)
1. 征夷大將軍 2. 太政大臣 3. 摂政 4. 防人
-
- 問12 平安時代後期には、仏教の教えが衰える「末法」の世が来るとする不安から、阿弥陀如来を信仰して死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方が広まりました。藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂の背景にもある、この信仰を何というか。 (2018年 鳥取公立入試 類似)
1. 禅宗 2. 浄土信仰 3. 法華信仰 4. 密教
-
- 問13 894年、唐の衰退と往復の航路の危険性を理由に遣唐使の派遣中止を建議し、その後の日本独自の文化である国風文化が発展するきっかけを作った人物は誰か。 (2026年 茨城公立入試 類似)
1. 菅原道真 2. 藤原道長 3. 平清盛 4. 源頼朝
-
- 問14 平安時代末期の東北地方における政治情勢と奥州藤原氏の関わりについて述べた文として、正しいものはどれか。 (2026年 和歌山公立入試 類似)
1. 藤原清衡が平泉を拠点に陸奥国の支配を確立し、金や馬などの特産品を通じて独自の勢力を築いた。 2. 北条氏が執権として実権を握り、平泉に東北地方を統括するための政庁を設置して支配を広げた。 3. 足利氏が源氏の血筋を主張して東北地方の武士をまとめ、平泉を拠点に幕府を開いた。 4. 平氏が日宋貿易の拠点を東北に移し、平泉を国際的な貿易港として整備することで富を蓄えた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 聖徳太子と菅原道真	607年に小野妹子を遣隋使として派遣したのは、推古天皇の摂政を務めた聖徳太子です。一方、894年に遣唐使の停止を建議したのは、優れた学者でもあった菅原道真です。中臣鎌足は大化の改新で活躍した人物、藤原道長は平安時代に摂関政治の全盛期を築いた人物であり、この外交上の出来事とは直接関係しません。
問2	答え 1 奥州藤原氏	前九年の役・後三年の役という戦乱を経て、藤原清衡が平泉に拠点を築いたことが始まりです。清衡、基衡、秀衡の三代にわたり、京都の文化を取り入れつつも、独自の北方貿易や産金背景を持つ強力な勢力として約100年間の繁栄を誇りました。
問3	答え 1 延久の荘園整理令	天皇が主体となって荘園の拡大を抑え、国家財政を立て直すために行われました。証拠となる書類を厳しく審査することで、不正な荘園を廃止し、中央政府による土地支配の強化と基準の統一を図ったのが特徴です。
問4	答え 1 院政	11世紀後半に白河上皇が始めた政治形態です。藤原氏が天皇の外戚（母方の親戚）として権力を持っていた摂関政治を抑え、皇室が政治の主導権を取り戻すために行われました。天皇が位を譲り、上皇となった後も「院庁」という独自の役所を置いて実権を振るいました。
問5	答え 1 藤原氏による摂関政治の影響を排除し、皇室が自ら政治の主導権を握るため	摂関政治は、藤原氏が娘を天皇の后にし、生まれた子（外孫）を天皇に立てることで摂政や関白として権力を振るう体制でした。後三条天皇は藤原氏を母に持たなかったため、摂関家の干渉を抑えることができました。その方針を引き継いだ白河天皇は、自らが退位して上皇となることで、摂政や関白の役職に縛られない立場から政治を主導する「院政」を確立しました。
問6	答え 1 自分の娘を天皇と結婚させ、その間に生まれた子を次の天皇に即位させることで、天皇の祖父として実権を握った。	藤原氏は、自分の娘を天皇の后（きさき）として送り込み、その間に生まれた皇子を次の天皇に立てる「外戚（がいせき）」関係を築くことで権力を安定させました。天皇の母方の祖父という立場を利用し、天皇が幼いときには「摂政」、成人してからは「関白」として政治の主導権を握る「摂関政治」を確立しました。
問7	答え 1 平安京から見て不吉な方角とされる北東（鬼門）に位置し、都を災いから守る役割を担った。	比叡山は平安京の北東に位置しており、当時の陰陽道の考え方で災いが入り込むとされる「鬼門」にあたります。そのため、延暦寺は国家を鎮め、都を災厄から守る「鎮護国家」の道場として、朝廷から厚い保護を受けました。
問8	答え 1 紀貫之	紀貫之は古今和歌集の選者の一人であり、その序文（仮名序）を執筆したことでも有名です。また、当時男性は公的な文書を漢文で書くのが一般的でしたが、彼はあえて女性を装ってかな文字で『土佐日記』を執筆し、国風文化における文学の発展に大きく貢献しました。山上憶良は奈良時代の歌人、藤原定家は鎌倉時代初期の『新古今和歌集』の編纂者です。
問9	答え 1 長引く戦乱で亡くなった人々を敵味方の区別なく供養し、仏教による平和な理想郷を築こうとしたため。	奥州藤原氏の初代清衡は、前九年の役や後三年の役という激しい戦乱を経験しました。清衡は、その戦いで犠牲になったすべての生命を供養し、阿弥陀如来の力によって東北地方を仏の住む浄土（平和な世界）にしようと思い、中尊寺の建立を進めました。この浄土信仰が平泉の文化の根幹となっています。
問10	答え 1 蝦夷	律令国家の形成を進める朝廷は、現在の東北地方に住み、独自の生活様式を保っていた人々を「蝦夷（えみし）」と呼びました。朝廷は彼らを支配下に置くため、軍事的な征服や、城柵と呼ばれる拠点の構築を長年にわたって進めました。
問11	答え 1 征夷大將軍	桓武天皇の時代、朝廷は東北地方の支配を確実なものにするため、大規模な軍隊を派遣しました。坂上田村麻呂はこの軍の指揮官である征夷大將軍に任命され、蝦夷の指導者であったアテルイを降伏させるなど、朝廷による東北支配を大きく前進させました。
問12	答え 2 浄土信仰	社会不安や戦乱への恐れから、南無阿弥陀仏と唱えることで救われるという考えが貴族から民衆へと広まりました。平等院鳳凰堂の内部には美しい阿弥陀如来像が安置され、壁画には極楽から迎えが来る様子が描かれるなど、この信仰が文化に大きな影響を与えたことがわかります。
問13	答え 1 菅原道真	唐の国力が衰えていたことや、海上の航路が非常に危険であったことから、菅原道真は派遣の延期（事実上の中止）を提案しました。これにより、それまで大陸から取り入れてきた文化を日本の風土や感性に合わせる動きが強まり、ひらがなや寝殿造などに代表される国風文化が花開くこととなりました。
問14	答え 1 藤原清衡が平泉を拠点に陸奥国の支配を確立し、金や馬などの特産品を通じて独自の勢力を築いた。	藤原清衡は、前九年の役・後三年の役という大きな戦乱を経て、陸奥国（現在の東北地方の大部分）における支配権を確立しました。平泉は北上川の舟運を利用できる交通の要所であり、この地を拠点に金や名馬を中央の朝廷や平氏に送ることで、政治的な地位と強大な経済力を維持しました。これにより、三代にわたって東北地方に独自の平和な時代をもたらしました。

- 問1 平安京の所在地について、近畿地方の他の歴史的な拠点と比較した説明として正しいものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. 平安京は山城国に位置し、大和国に置かれた平城京よりも北に位置する。
 2. 平安京は摂津国に位置し、難波宮（大阪）よりも西に位置する。
 3. 平安京は伊勢国に位置し、伊勢神宮のすぐ西側に建設された。
 4. 平安京は近江国に位置し、琵琶湖の東岸に沿って建設された。
- 問2 源頼朝が成立させた鎌倉幕府と、その直前に権力を握った平氏政権の政治体制の違いについて述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 三重公立入試 類似)
1. 平清盛は太政大臣という朝廷の最高職に就いて権力を振るったが、源頼朝は征夷大將軍として朝廷から自立した軍事政権を組織した。
 2. 平氏は関東の武士を基盤に幕府を組織したが、源頼朝は京都の貴族と結びつくことで政治の主導権を握った。
 3. 平清盛は征夷大將軍として全国の武士を支配したが、源頼朝は執権という役職を新設して幕府の仕組みを整えた。
 4. 平氏は地方の武士の不満を背景に天皇に取って代わろうとしたが、源頼朝は平将門の乱を鎮圧した功績で政治の実権を与えられた。
- 問3 白河天皇が始めた政治の仕組みにおいて、天皇が位を譲った後に「上皇」として政治を行う体制を何と呼びますか。その名称と目的の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 和歌山公立入試 類似)
1. 院政 — 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため
 2. 摂関政治 — 天皇の外祖父として、幼い天皇に代わって政治を代行するため
 3. 公武合体 — 朝廷と幕府の結びつきを強め、国の政治を安定させるため
 4. 執権政治 — 將軍の補佐役として、鎌倉幕府の実権を独占するため
- 問4 平安時代の出来事である「空海による金剛峯寺の建立」「藤原純友の乱」「白河上皇による院政の開始」「平治の乱における源義朝の敗北」について、これらを発生した時期の古いものから順に正しく並べたものはどれですか。 (2020年 京都公立入試 類似)
1. 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北
 2. 藤原純友の乱 → 空海による金剛峯寺の建立 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北
 3. 空海による金剛峯寺の建立 → 白河上皇による院政の開始 → 藤原純友の乱 → 平治の乱における源義朝の敗北
 4. 白河上皇による院政の開始 → 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 平治の乱における源義朝の敗北
- 問5 日本の歴史における仏教寺院の立地について、最澄が建立した天台宗の本山である延暦寺の所在地を説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 近畿地方の中央寄りに位置し、滋賀県と京都府の境界付近にある
 2. 関東地方の広大な平野の中に位置し、交通の要衝となっている
 3. 瀬戸内海から九州方面へ向かう海沿いの地域に位置している
 4. 東北地方の北部に位置し、当時の政治の中心地から遠く離れている
- 問6 平安時代の文化の特色として、漢字を簡略化したり一部を取ったりして発明され、女性による物語や和歌の発展に大きな役割を果たしたものを何といいますか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 仮名文字
 2. 甲骨文字
 3. くさび形文字
 4. 梵字
- 問7 天皇家から分かれ、平高望を起点として平清盛へと続く系図に示されるような「平氏の出自」は、彼らが武士団として台頭する上でどのような役割を果たしましたか。その背景として最も適切なものを選んでください。 (2023年 沖縄公立入試 類似)
1. 高貴な身分を背景に、他の武士をまとめ上げたり朝廷の政治に関わったりする根拠となった
 2. 地方の豪族と同じ立場であることを強調し、農民たちの支持を広く集める要因となった
 3. 天皇の血を引いていることを理由に、一切の軍事活動を禁じられ貴族文化に専念するきっかけとなった
 4. 源氏の末裔であることを証明することで、武家の棟梁としての正当性を主張する材料となった
- 問8 平安時代に行われた「院政」と「摂関政治」の違いについて述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木公立入試 類似)
1. 院政は天皇が位を譲って上皇となった後に実権を握る政治であり、摂関政治は藤原氏が摂政や関白として政治を行う体制である。
 2. 院政は平氏や源氏などの武士が中心となって行う政治であり、摂関政治は公家を中心となって行う政治である。
 3. 院政は聖武天皇が仏教の力で国を治めようとした政治であり、摂関政治は白河上皇が始めた新しい政治体制である。
 4. 院政は鎌倉に幕府を開いて行われた政治であり、摂関政治は京都の御所を中心に行われた政治である。
- 問9 平安時代における文化の展開や海外との交流を示す記録において、遣唐使が中国から茶を伝え天皇に献上したことなどが記されています。このような海外交流の変化と、国風文化の確立に関連する出来事の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. 仮名文字の使用が広がり、日本固有の感情を表現する『古今和歌集』などの文学が成立した。
 2. 武士の台頭を背景に、琵琶法師が各地で『平家物語』を語り継いだ。
 3. 出雲の阿国が京都で歌舞伎踊りを披露し、庶民の間で爆発的な人気を得た。
 4. 織田信長が築いた安土城に見られるような、壮大で豪華な文化が各地に広がった。
- 問10 平安時代末期の1156年、崇徳上皇と後白河天皇の対立を背景に、摂関家や武士団も二手に分かれて戦った政変が起こりました。この争いをきっかけに武士の力が朝廷に認められ、その後の平氏政権の誕生へとつながる重要な歴史的出来事は何ですか。 (2020年 愛媛公立入試 類似)
1. 保元の乱
 2. 平治の乱
 3. 承久の乱
 4. 応仁の乱
- 問11 平安時代、藤原氏は自分の娘を天皇の妃（きさき）とし、生まれた子を次の天皇に立てることで権力を握りました。このように、天皇が幼い時に政務を代行する職と、成人の天皇を補佐する職を合わせて何と呼びますか。 (2024年 大阪公立入試 類似)
1. 摂政・関白
 2. 執権・連署
 3. 征夷大將軍
 4. 太政大臣
- 問12 日本史の出来事を時系列に並べた際、894年の遣唐使の廃止より後で、かつ、藤原氏を外戚としない後三条天皇の即位（親政の開始）より前の時期に該当する出来事として最も適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄公立入試 類似)
1. 藤原道長が摂政になり、摂関政治の全盛期を築いた。
 2. 平清盛が太政大臣になり、武士として初めて政治の実権を握った。
 3. 白河上皇が院政を開始し、天皇に代わって政治を行った。
 4. 聖徳太子が摂政になり、冠位十二階や十七条の憲法を定めた。
- 問13 平安時代中期、遣唐使の停止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達しました。この文化において、かな文字を用いて書かれた長編物語の傑作と、その作者の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 山梨公立入試 類似)
1. 源氏物語 — 紫式部
 2. 枕草子 — 清少納言
 3. 土佐日記 — 紀貫之
 4. 平家物語 — 信濃前司行長

答え合わせ・解説

問1	答え 1 平安京は山城国に位置し、大和国に置かれた平城京よりも北に位置する。	平安京が置かれた京都盆地（山城国）は、平城京が置かれた奈良盆地（大和国）の北側に位置しています。桓武天皇は、平城京での仏教勢力の政治介入を断ち切るために、まず長岡京へ遷都し、その後さらに条件の良い平安京へと都を移しました。難波（大阪）は平安京の南西、伊勢（三重）は南東に位置するため、地理的な位置関係を正確に把握しておく必要があります。
問2	答え 1 平清盛は太政大臣という朝廷の最高職に就いて権力を振ったが、源頼朝は征夷大將軍として朝廷から自立した軍事政権を組織した。	平清盛は1167年に太政大臣に就任し、貴族と同じような立場で政治を動かす道を選びました。これに対し、源頼朝は1192年に征夷大將軍に任命されることで、京都の朝廷とは距離を置いた鎌倉の地に独自の軍事政権である鎌倉幕府を確立しました。この違いは、武士が単なる貴族のガードマンから、独自の組織を持つ統治者へと進化した過程を示しています。なお、平将門の乱は10世紀の出来事であり、頼朝の時代より200年以上前であるため、選択肢の背景としては不適切です。
問3	答え 1 院政 ― 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため	白河天皇は、幼い皇子を天皇に据えつつ、自らは退位して自由な立場の上皇（院）となり、独自の役所を設けて政治を動かしました。これは、藤原氏が摂政や関白として政治に介入する余地を奪い、天皇の父や祖父が政治の主導権を取り戻すことを目的としていました。
問4	答え 1 空海による金剛峯寺の建立 → 藤原純友の乱 → 白河上皇による院政の開始 → 平治の乱における源義朝の敗北	平安時代初期の9世紀初め、嵯峨天皇の時代に空海が真言宗を開き、高野山に金剛峯寺を建立しました。その後、10世紀半ばの平安中期には、地方政治の乱れを背景に瀬戸内海で藤原純友の乱が起きました。11世紀末になると、白河上皇が摂関政治を抑えるために院政を開始し、その権力争いの中で武士が中央政治に進出します。そして12世紀半ばの1159年、平治の乱で源義朝が平清盛に敗れたことで、平氏の権力が決定的なものとなりました。
問5	答え 1 近畿地方の中央寄りに位置し、滋賀県と京都府の境界付近にある	延暦寺が置かれた比叡山は、広域的な地域区分では近畿地方に該当します。滋賀県と京都府の県境付近という、当時の都であった平安京から見て北東（鬼門）の方角に位置していたことが、この地に建立された歴史的な要因の一つです。
問6	答え 1 仮名文字	漢字を日本風に崩したり簡略化したりして作られた「かな（仮名）」が普及したことで、漢字では表現しにくかった日本人の微妙な感情を書き表すことが可能になりました。これにより『源氏物語』や『枕草子』などの優れた文学作品が生まれました。
問7	答え 1 高貴な身分を背景に、他の武士をまとめ上げたり朝廷の政治に関わったりする根拠となった	平安時代の社会では血統が極めて重視されました。平氏が単なる地方の武装集団に留まらず、広範な武士団を組織し、最終的に政権を握ることができたのは、彼らが「天皇の子孫」という貴族的な身分を併せ持っていたからです。この権威があったからこそ、各地の武士を配下に収めることができ、また朝廷内でも高い官職を得て政治の実権を握ることが可能になりました。
問8	答え 1 院政は天皇が位を譲って上皇となった後に実権を握る政治であり、摂関政治は藤原氏が摂政や関白として政治を行う体制である。	摂関政治は、藤原氏が娘を天皇の妃にし、生まれた子を天皇に立てて、その母方の祖父（外戚）として摂政や関白の地位に就き実権を握る仕組みでした。これに対し、院政は藤原氏と血縁関係の薄い後三条天皇の後の白河上皇が、藤原氏の影響を排除するために自ら政治を主導した仕組みを指します。
問9	答え 1 仮名文字の使用が広がり、日本固有の感情を表現する『古今和歌集』などの文学が成立した。	平安時代は、前期に遣唐使を通じて中国（唐）の文化や茶などの嗜好品がもたらされましたが、後期にかけてはそれらを基盤とした日本独自の国風文化が確立されました。特にかな文字の普及は、貴族社会において繊細な感情を表現することを可能にし、最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』や女流文学の隆盛をもたらしました。他の選択肢にある『平家物語』は鎌倉時代、出雲の阿国や安土城は安土桃山時代に関する内容であり、時代が異なります。
問10	答え 1 保元の乱	平安時代末期の朝廷内における権力闘争において、源氏や平氏といった武士が実力行使の主体として動員されました。この戦いを通じて武士の軍事力が政治を左右することが明確になり、貴族中心の政治から武士が主導権を握る時代へと移行する決定的な契機となりました。この直後に起こる平治の乱を経て、平清盛による武家政権が築かれていくことになります。
問11	答え 1 摂政・関白	藤原氏は天皇の母方の親戚（外戚）となることで政治の実権を握りました。天皇が幼少の間は「摂政」として、成人してからは「関白」として政治を主導したため、この二つの職を合わせて「摂関」と呼び、この政治形態を摂関政治といいます。鎌倉時代の北条氏による「執権」とは時代も仕組みも異なります。
問12	答え 1 藤原道長が摂政になり、摂関政治の全盛期を築いた。	平安時代は、遣唐使の廃止による国風文化の発展、藤原氏による摂関政治、上皇による院政、そして武士の台頭という流れで進みます。道長の活躍は11世紀初めであり、遣唐使廃止（9世紀末）と後三条天皇による親政や白河上皇の院政（11世紀後半）の間に位置します。平清盛の活躍はさらにその後の12世紀のことです。
問13	答え 1 源氏物語 ― 紫式部	平安時代中期には、日本の独自の風土や感覚を重んじる「国風文化」が花開きました。かな文字の発達により、女性による文学作品が多く生み出され、紫式部が宮廷生活を題材に書いた『源氏物語』はその代表作です。選択肢にある『枕草子』は清少納言による随筆であり、『土佐日記』は紀貫之が女性に仮託して書いた日記、『平家物語』は鎌倉時代に成立した軍記物語です。

- 問1 平安時代中期に藤原道長が摂政に就任したことで全盛期を迎えた、藤原氏が天皇の代理や補佐として実権を握る政治形態を何といいますか。
(2017年 沖縄公立入試 類似)
1. 摂関政治 2. 院政 3. 幕府政治 4. 親政
-
- 問2 平安時代の中期には、遣唐使の廃止などを背景として、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達しました。この時期、漢字を簡略化した「かな文字」を用いて紫式部によって執筆され、当時の華やかな貴族社会の様子を題材とした物語文学を選んでください。
(2016年 和歌山公立入試 類似)
1. 源氏物語 2. 枕草子 3. 平家物語 4. 万葉集
-
- 問3 11世紀後半に白河上皇が「院政」を開始した背景や目的を説明したものとして、最も適切なものを選択してください。
(2017年 佐賀公立入試 類似)
1. 藤原氏などの摂関家が代々実権を握る政治を抑え、天皇家の主導権を取り戻すため。 2. 平清盛ら武士の勢力を抑えるために、東北地方の蝦夷と手を結んで軍事力を強化するため。 3. 足利義満が行った日明貿易に対抗し、天皇自身が中国(宋)との直接貿易を行う権限を得るため。 4. 平京城から平安京への遷都をスムーズに進めるために、仏教勢力の政治介入を排除するため。
-
- 問4 10世紀後半、唐が滅亡した後に続いた分裂状態の中国を再び統一し、日本が平安時代の頃に栄えた王朝を何というか、名称として正しいものを選びなさい。
(2019年 埼玉公立入試 類似)
1. 宋 2. 元 3. 明 4. 隋
-
- 問5 平安時代末期、武士として初めて太政大臣の位にのぼり、自身の娘を天皇のきさきにすることで政治的な実権を握った人物は誰か。
(2014年 沖縄公立入試 類似)
1. 平清盛 2. 藤原道長 3. 源頼朝 4. 足利尊氏
-
- 問6 平安時代末期、平清盛は武士として初めて、朝廷における最高職である官職に任命されました。その官職名を次の中から選びなさい。
(2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 太政大臣 2. 征夷大將軍 3. 関白 4. 執権
-
- 問7 平清盛を中心とした平氏一門が政治の実権を握った背景には、皇室との密接な親族関係がありました。清盛の娘である徳子が、高倉天皇の妃として嫁ぎ、その間に生まれた子が幼くして即位しましたが、このとき平氏の繁栄を象徴する存在となった天皇は誰ですか。
(2020年 奈良公立入試 類似)
1. 後白河天皇 2. 崇徳天皇 3. 安徳天皇 4. 鳥羽天皇
-
- 問8 藤原氏が摂政や関白として朝廷の官職を独占した理由を述べた次の文章のうち、当時の政治の仕組みとして正しい記述を選びなさい。
(2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 天皇の外祖父(母方の祖父)という立場を利用して、天皇に代わって、あるいは天皇を補佐して政治を執り行ったため 2. 私地私民の原則を否定し、すべての土地を藤原氏の私有地として認める制度を確立したため 3. 太政官などの伝統的な役職をすべて廃止し、藤原氏の家臣のみで構成される新しい議決機関を作ったため 4. 地方を統治していた国司の任命権を天皇から完全に奪い、軍勢力を背景に地方政治を直接支配したため
-
- 問9 桓武天皇の時代に、東北地方に居住し朝廷の支配に抵抗していた「蝦夷」と呼ばれる人々を服属させるため、軍の指揮官として任命された人物は誰ですか。
(2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 坂上田村麻呂 2. 源義経 3. 藤原清衡 4. 足利尊氏
-
- 問10 白河上皇が院政を開始した背景とその政治的目的について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2017年 沖縄公立入試 類似)
1. 摂関家との血縁が薄い後三条天皇の即位により、藤原氏による専制が弱まったことを受け、上皇自らが実権を握ろうとした。 2. 平氏や源氏といった武士の力が強大になったため、それらを鎮圧するために天皇が退位して軍事権を握ろうとした。 3. 土地の国有化を進める班田収授法が機能しなくなったため、新しい戸籍制度を確立して律令国家を再建しようとした。 4. 仏教勢力の強まりに対抗するため、上皇は出家して法皇となり、寺院の武装化(僧兵)を完全に禁止しようとした。
-
- 問11 平安時代初期、朝廷の支配に抵抗する東北地方の蝦夷(えみし)を平定するために、坂上田村麻呂が任命された官職を何といいますか。後に鎌倉幕府や江戸幕府を開いた人物たちが、武士の頂点を示す称号として用いることになった名称を答えなさい。
(2015年 佐賀公立入試 類似)
1. 征夷大將軍 2. 摂政 3. 関白 4. 太政大臣
-
- 問12 894年に遣唐使の派遣が停止された理由として、当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2023年 大分県公立入試 類似)
1. 派遣先である唐の国勢が衰退しており、往復の航海も非常に危険であったため 2. 白村江の戦いで唐の軍勢に敗北したことにより、国交が途絶えていたため 3. 遣唐使の派遣が始まったことで、中国との外交ルートが新しくなったため 4. 唐が滅亡し、新しく宋(北宋)が建国されたことで交流の必要がなくなったため
-
- 問13 古今和歌集の編纂の中心人物であり、かな文字を用いた日記文学の先駆けである『土佐日記』の著者としても知られる人物は誰ですか。
(2022年 三重公立入試 類似)
1. 紀貫之 2. 山上憶良 3. 藤原定家 4. 紫式部
-
- 問14 平安時代の政治の変遷について述べた次の文のうち、白河天皇が行った政治体制の仕組みとして正しいものはどれですか。
(2024年 愛知公立入試 類似)
1. 天皇が位を退いて上皇となった後も、特定の役職に縛られずに政治の主導権を握った。 2. 藤原氏が娘を天皇のきさきに送り込み、その子供が天皇になると摂政や関白として政治を行った。 3. 源頼朝が征夷大將軍に任命され、守護や地頭を各地に配置して軍事や警察の権限を握った。 4. 唐の律令を模範とした法を整備し、全国に国司を派遣して土地と民を直接支配した。
-
- 問15 国風文化が栄えた平安時代中期、藤原氏などの貴族が居住していた建築様式について説明した文として適切なものはどれですか。この様式は、池のある広い庭園を囲むように建物が配置され、風通しを良くする工夫がなされているのが特徴です。
(2021年 岡山公立入試 類似)
1. 書院造 2. 寝殿造 3. 武家造 4. 高床建築

答え合わせ・解説

問1	答え 1 摂関政治	藤原氏は、天皇が幼少のときは「摂政」、成人してからは「関白」という官職に就くことで政治の実権を握りました。道長とその子である頼通の時代にその力は絶頂に達し、娘を次々と天皇の后（きさき）にすることで、天皇の外祖父（母方の祖父）として強い影響力を行使しました。
問2	答え 1 源氏物語	平安時代中期、遣唐使の停止により大陸の影響を消化した独自の「国風文化」が花開きました。この時期に発明された「かな文字」は、漢字では表現しきれない日本人の繊細な感情を記すことを可能にし、宮廷に仕える女性たちによる文学が隆盛しました。紫式部によるこの作品は、光源氏を主人公に貴族社会の恋愛や栄華、無常観を描いた、世界最古級の長編物語として知られています。
問3	答え 1 藤原氏などの摂関家が代々実権を握る政治を抑え、天皇家の主導権を取り戻すため。	平安時代中期まで続いた藤原氏による摂関政治は、天皇との血縁関係（外戚）を基盤としていました。白河上皇は、天皇が位を退いて自由な立場の上皇となることで、摂関家の影響を受けずに独自の役所（院庁）で政治を執り行う体制を整えました。これにより、政治の主導権を摂関家から天皇家側へと引き戻すことに成功しました。
問4	答え 1 宋	唐の滅亡後、五代十国と呼ばれた約50年の分裂時代を経て、960年に建国された王朝です。日本では藤原道長らが活躍した平安時代中期から後期に該当し、公式な使節の派遣は途絶えていたものの、民間貿易を通じて日本に大きな影響を与えました。
問5	答え 1 平清盛	平氏は瀬戸内海の実業家として勢力を伸ばし、平清盛の代で全盛期を迎えました。清盛は武士として初めて最高官職である太政大臣に就任したほか、娘の徳子を高倉天皇のきさき（中宮）とし、その間に生まれた子を安徳天皇として即位させることで、藤原氏が行った摂関政治と同様の手法で権力を強固にしました。
問6	答え 1 太政大臣	平清盛は1167年に、それまで貴族の独占状態であった最高官職の太政大臣に就任しました。これにより、平氏の一族が政治の要職を占める「平氏政権」を確立し、武士が政治の実権を握る先駆けとなりました。
問7	答え 3 安徳天皇	平清盛は、娘の徳子（建礼門院）を天皇の妃に送り込み、その間に生まれた安徳天皇を即位させました。清盛は安徳天皇の祖父という立場を利用して、政治の主導権を握りました。この親族関係によって平氏は全盛期を迎えましたが、後の源平合戦（治承・寿永の乱）において安徳天皇は平氏とともに西国へと逃れることになります。
問8	答え 1 天皇の外祖父（母方の祖父）という立場を利用して、天皇に代わって、あるいは天皇を補佐して政治を執り行ったため	摂関政治の根幹は、天皇との緊密な血縁関係にあります。藤原氏は娘を天皇の后にすることで、次代の実権を「外戚（母方の親戚）」となることを目指しました。これにより、幼い天皇を助ける摂政や、成人した天皇を補佐する関白という地位を世襲し、他の貴族を圧倒する権力を維持しました。武力や制度の抜本的な改革ではなく、既存の朝廷の仕組みの中で血縁を利用して実権を握った点が重要です。
問9	答え 1 坂上田村麻呂	桓武天皇は平安京への遷都を進める一方で、律令国家の支配を強化するために東北地方への遠征を積極的に行いました。その際、征夷大將軍として抜擢されたのが坂上田村麻呂です。彼は現在の岩手県にある胆沢城を拠点に蝦夷の指導者であったアテルイを降伏させるなど、朝廷の勢力範囲を北へと大きく広げる役割を果たしました。
問10	答え 1 摂関家との血縁が薄い後三条天皇の即位により、藤原氏による専制が弱まったことを受け、上皇自らが実権を握ろうとした。	院政が始まる直接の背景には、藤原氏を外戚（母方の親戚）に持たない後三条天皇が即位し、摂関家を軽視する政治を行ったことがあります。その子である白河天皇は、この流れを引き継いで退位後に院政を始め、藤原氏から政治の主導権を奪い返しました。
問11	答え 1 征夷大將軍	桓武天皇の時代、朝廷の支配を東北地方まで広げるため、軍の総帥として坂上田村麻呂がこの職に任じられました。当初は「蝦夷を征討する將軍」という意味でしたが、後に源頼朝がこの官職を望んで得たことから、武家政権の首長を指す重要な称号へと変化しました。
問12	答え 1 派遣先である唐の国勢が衰退しており、往復の航海も非常に危険であったため	遣唐使の停止には、大きく分けて2つの理由があります。一つは、唐国内で反乱が起きるなど国勢が衰えており、命を懸けて派遣しても得るものが少なくなっていたこと。もう一つは、東シナ海を渡る航海が依然として困難で、多くの犠牲者を出すほど危険だったことです。
問13	答え 1 紀貫之	紀貫之は古今和歌集の選者の一人であり、その序文（仮名序）を執筆したことで有名です。また、当時男性は公的な文書を漢文で書くのが一般的でしたが、彼はあえて女性を装ってかな文字で『土佐日記』を執筆し、国風文化における文学の発展に大きく貢献しました。山上憶良は奈良時代の歌人、藤原定家は鎌倉時代初期の『新古今和歌集』の編纂者です。
問14	答え 1 天皇が位を退いて上皇となった後も、特定の役職に縛られずに政治の主導権を握った。	白河天皇が始めた院政は、天皇が譲位して上皇（院）となり、摂関家の役職である摂政・関白を介さずに政治を動かす仕組みです。これにより、それまで全盛を誇った藤原氏の摂関政治を抑え、独自の軍勢力（北面の武士など）を組織して支配を強めました。
問15	答え 2 寝殿造	日本の蒸し暑い夏を快適に過ごすため、壁が少なく開放的な造りになっているのが特徴です。中心となる「寝殿」から左右に廊下が伸び、その先に「対の屋」が配置されるなど、貴族の華やかな生活空間を形成していました。室町時代に広まった書院造と区別することが重要です。